

「生涯学習に関するアンケート調査」報告書
おいらせ町の社会教育施設
おいらせ町の文化財
おいらせ町の埋蔵文化財等包蔵地名一覧
おいらせ町社会教育計画検討委員会委員名簿
おいらせ町社会教育委員名簿
おいらせ町執行機関の附属機関の設置等に関する条例

IV 参考資料

「生涯学習に関するアンケート調査」 報告書

1. 調査目的

令和2年度に始まった「第3次おいらせ町社会教育中期計画」が令和7年3月で5年の期限を迎えるにあたり、さらに町民の学習と社会参加活動等を支援するため、新たな「第4次おいらせ町社会教育中期計画」を策定する必要があります。

この新たな計画策定に伴い、町民の意識や学習活動の現状、意見等を把握し、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査方法

(1) 調査の対象

おいらせ町民700人（10歳代～70歳代 各年代100人の無作為抽出）

(2) 調査地域

おいらせ町全域

(3) 調査方法

郵送およびウェブによる配布・回収

(4) 標本数

700人

(5) 調査期間

令和6年4月3日（水）～令和6年5月5日（土）

3. 回収結果

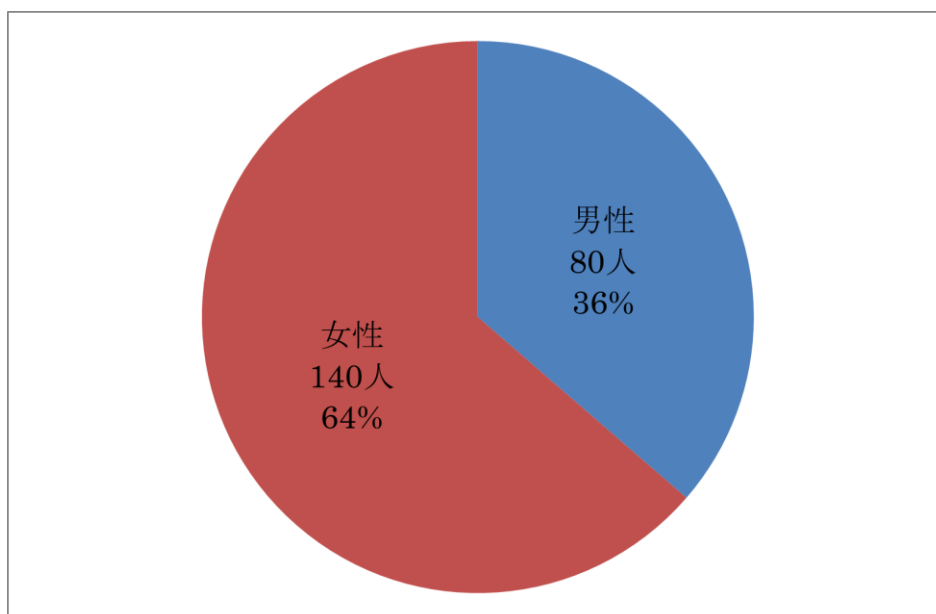
(1) 配票数 700人

(2) 回収数 220人 （前回 286人）

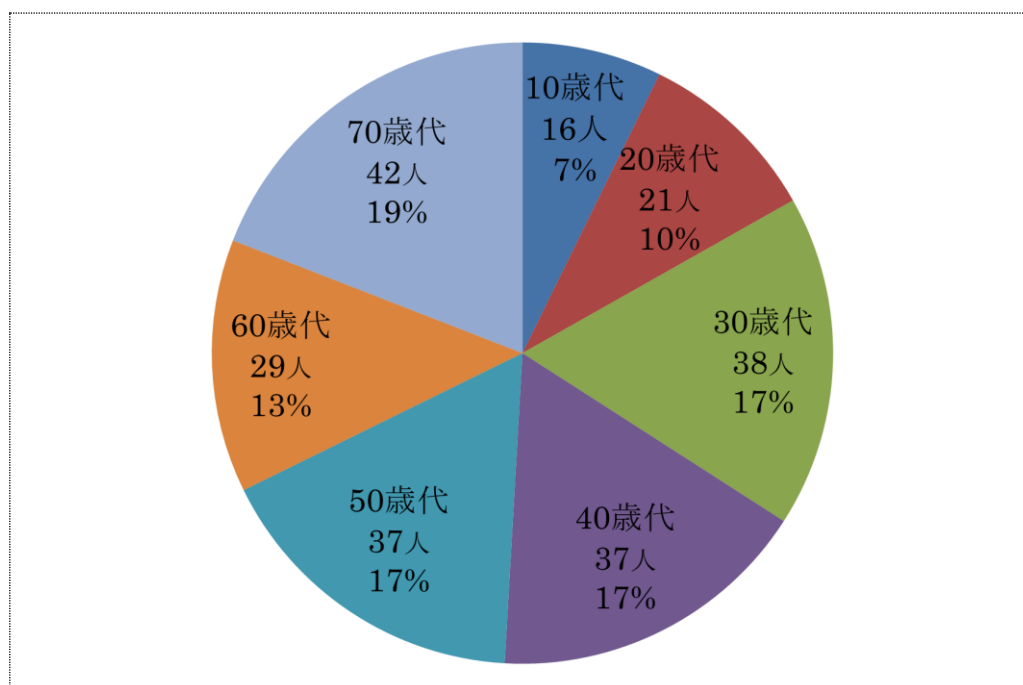
(3) 回収率 31.4% （前回 40.9%）

■社会教育・生涯学習に関するアンケート調査結果■

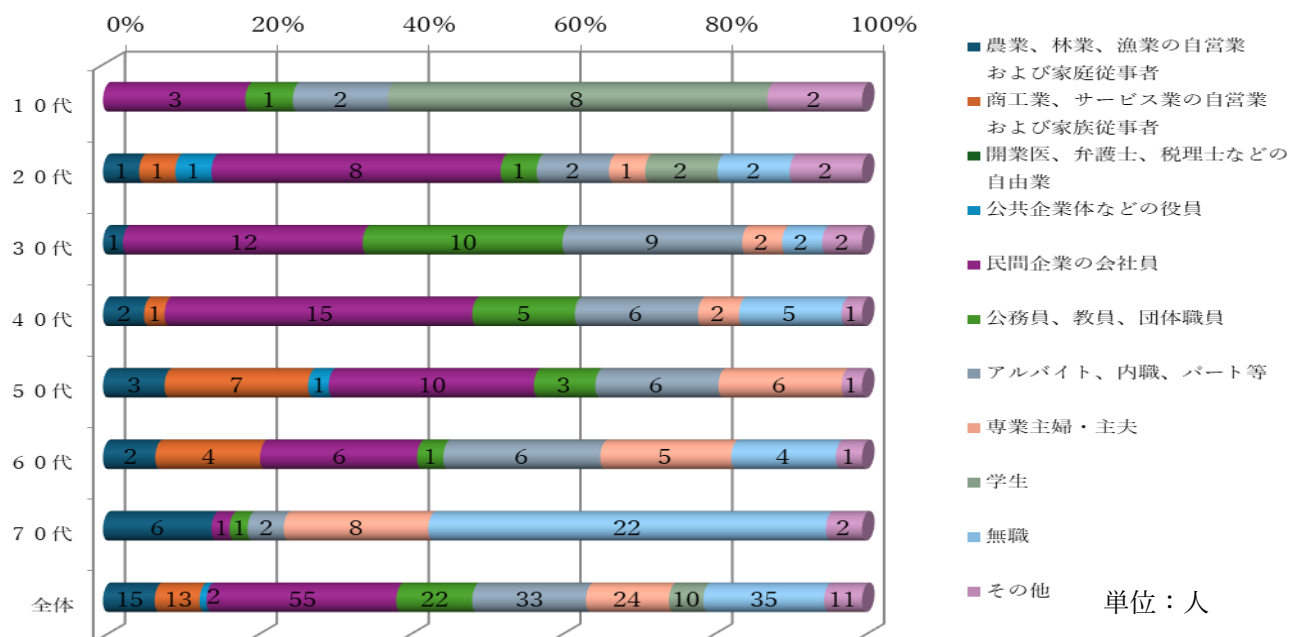
問1 はじめに、あなたご自身のことについてお知らせ下さい。
あなたの性別をお知らせ下さい。



問2 あなたの年齢をお知らせ下さい。

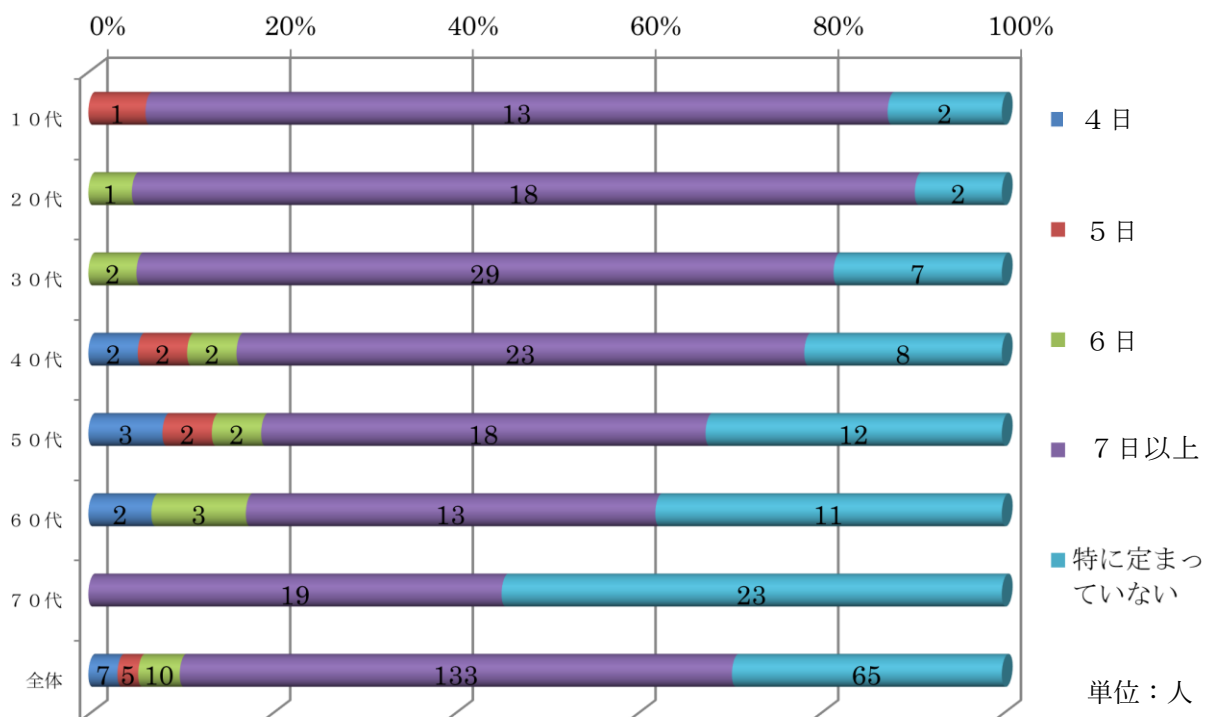


問3 あなたの職業をお知らせ下さい。



年代別に見ると、10代「学生」、20代「アルバイト、内職、パート等」、30代・40代・50代「民間企業の会社員」、60代・70代「無職」の割合が多いです。

問4 あなたは一ヶ月に「休みの日」が何日ありますか。



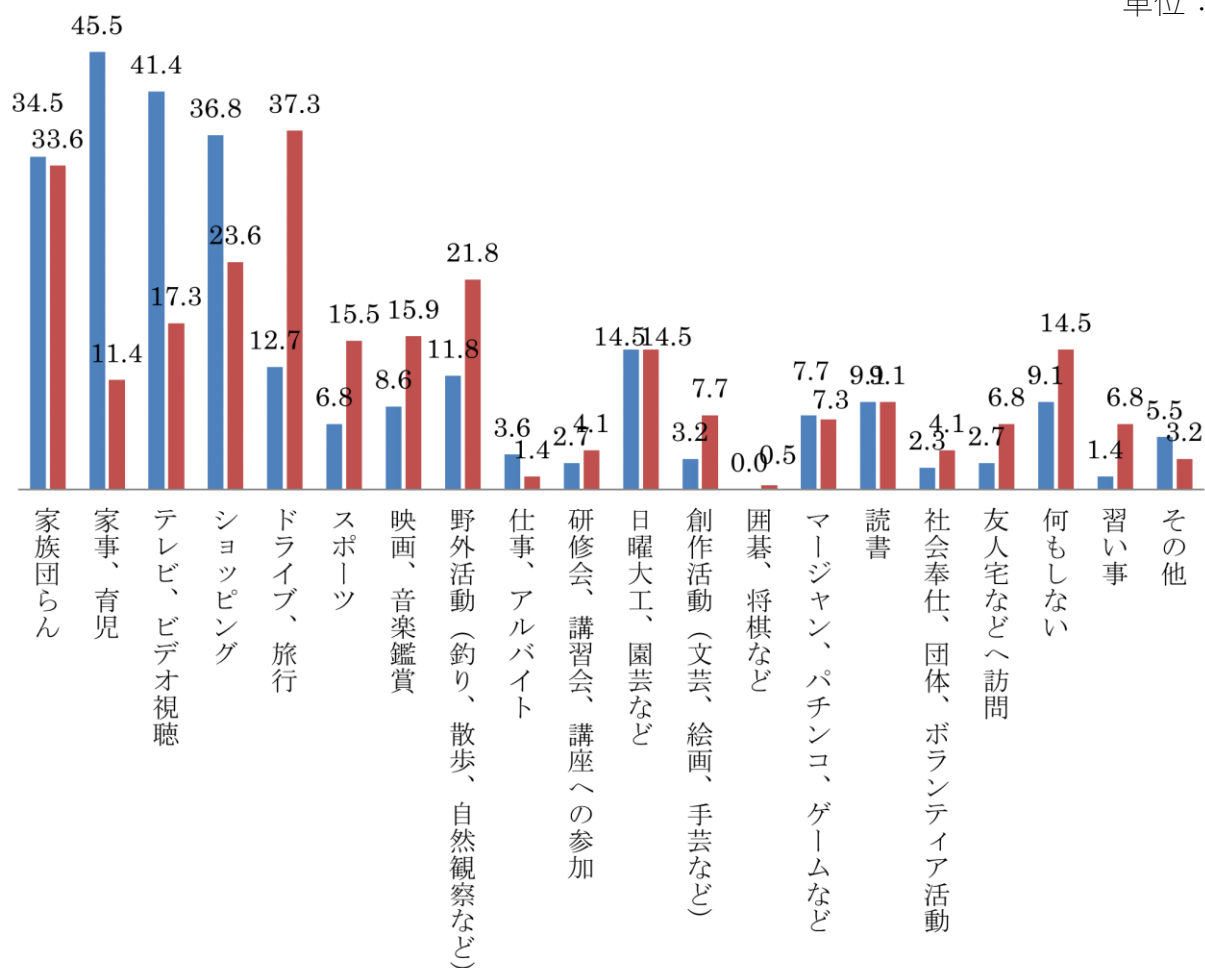
全体での割合は「7日以上」60%が最も高く、次に「特に定まっていない」29%が高くなっています。年代別に見ると10代～60代は「7日以上」の割合が高く、70代では「特に定まっていない」の割合が高くなっています。

問5 あなたは「休みの日」をどのように過ごす事が多いですか。(3つまで)

問6 あなたは「休みの日」を本当はどのように過ごしたいと思っていますか。(3つまで)

■問5 ■問6

単位：％

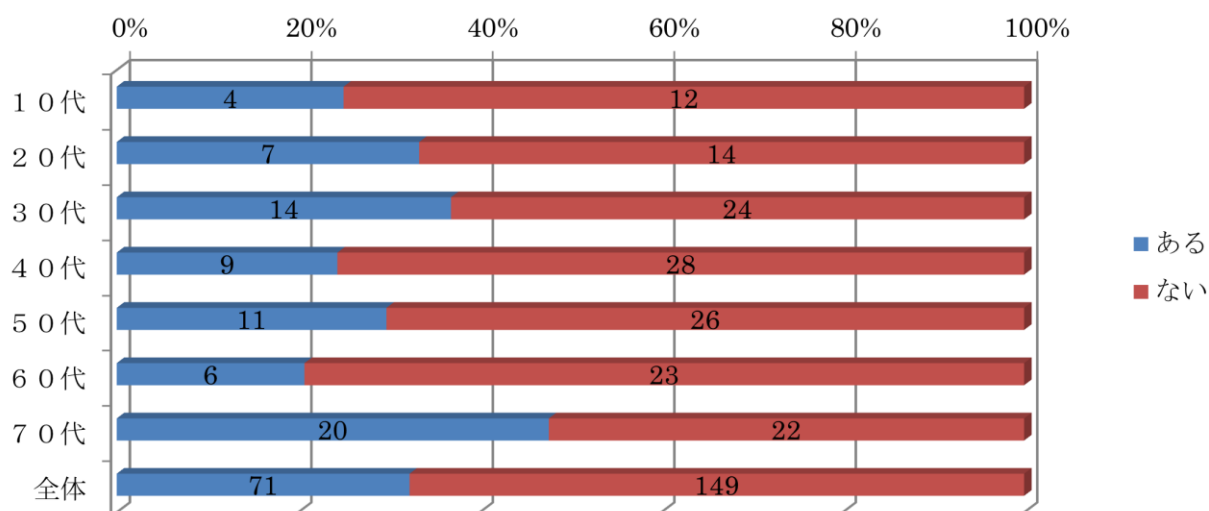


問5「休みの日」をどのように過ごすことが多いですかの質問に対して「家事・育児」45.5％が最も高く、以下「テレビ・ビデオ視聴」41.4％、「ショッピング」36.8％の順となります。

問6「休みの日」を本当はどのように過ごしたいかの質問に対しては「ドライブ・旅行」37.3％、「ショッピング」23.6％、「家族団らん」33.6％の順となります。

問5で1番目に多かった「家事・育児」45.5％が、問6になると11.4％と少なくなります。逆に問6で最も多かった「ドライブ・旅行」37.3％が、問5では12.7％と少なくなり、実際の「休みの日」の過ごし方と、理想の「休みの日」の過ごし方に、大きな差があることがわかります。

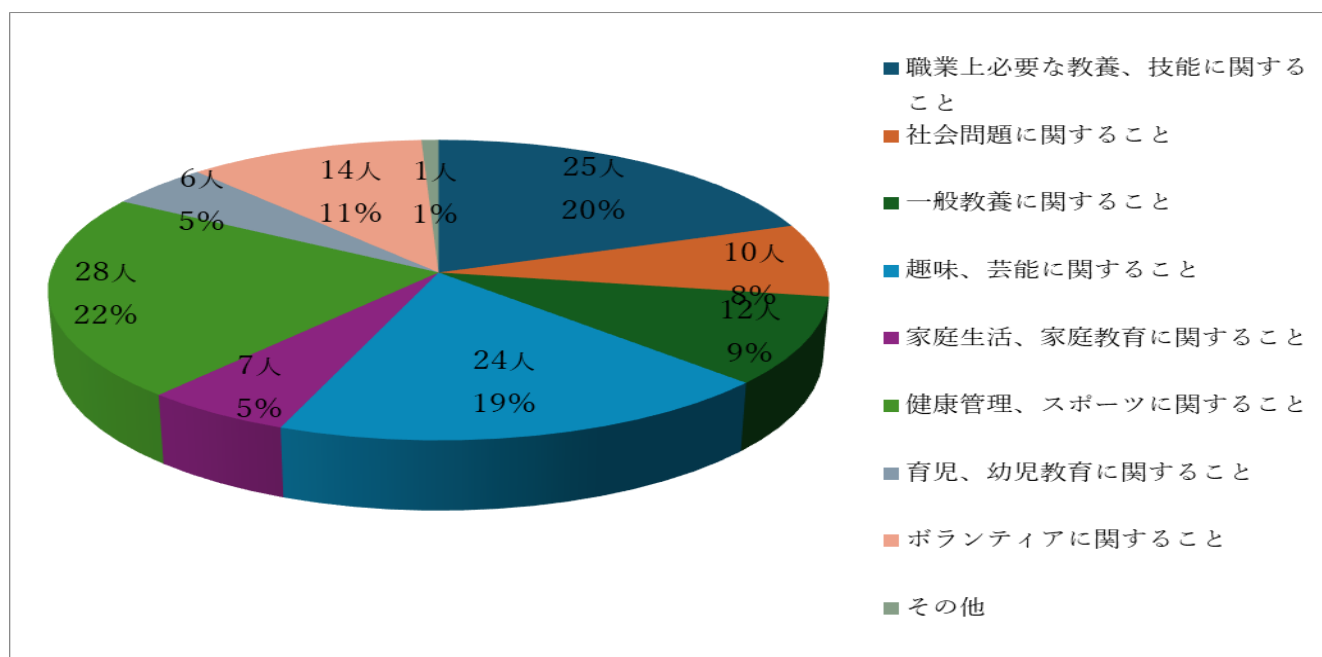
問7 あなたはこの一年間に学業や仕事とは別に、学んだり・習ったり・参加したことがありますか。(スポーツ活動、趣味、ボランティア活動も含む)



全体で「ある」32%、「ない」68%となった。年代別で見ると70代「ある」42%の割合が高くなっています。他の年代は「ある」の割合が約30%にとどまり、参加している割合が低いことがわかります。

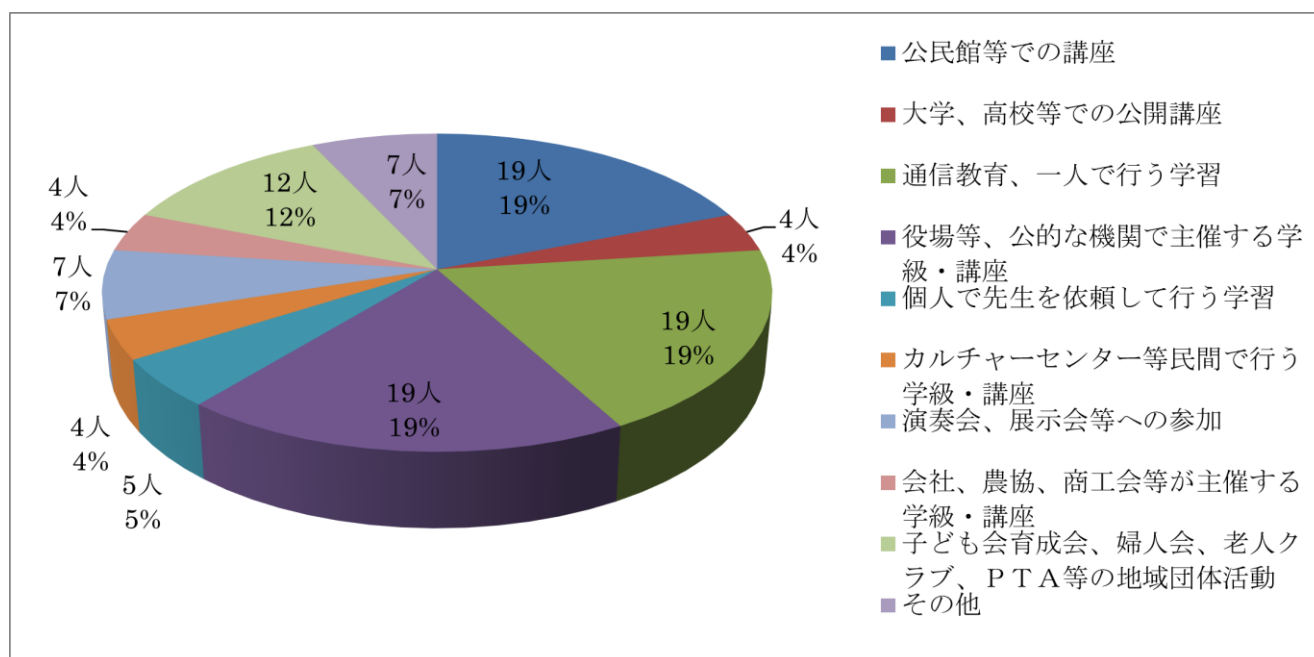
問7で「ある」と答えた方は、次の(1)～(2)の間にお答え下さい。

(1) どのような学習や活動をしましたか？(いくつでも)



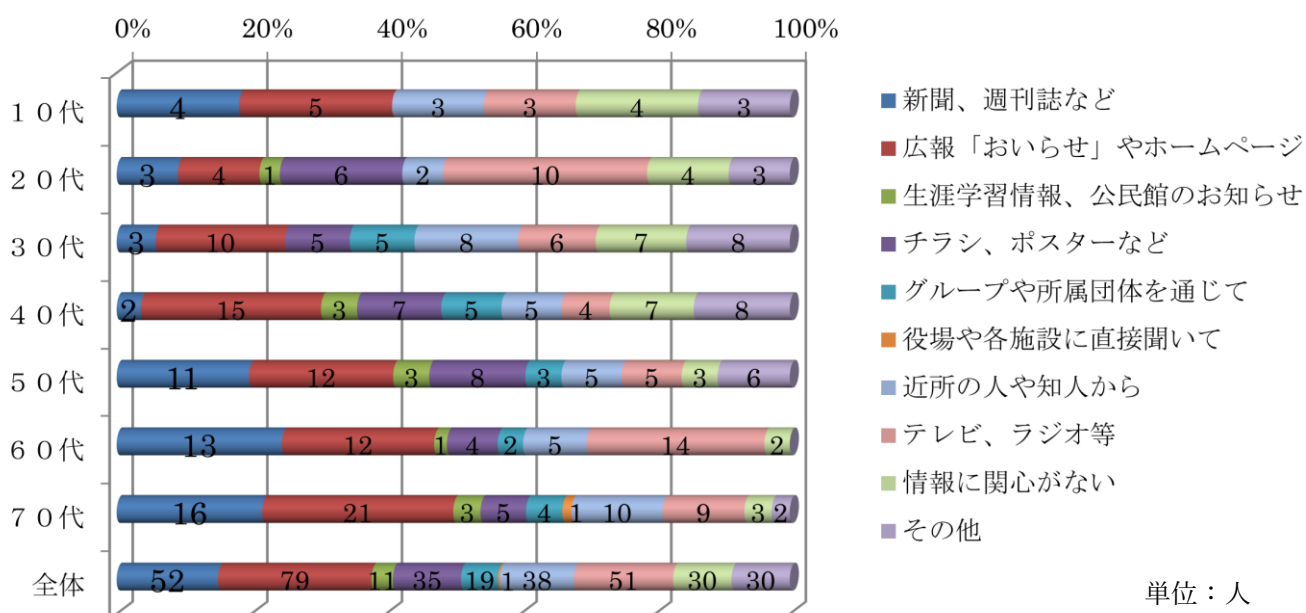
問7で「ある」と答えた71人に質問したところ、「健康管理、スポーツに関すること」の割合が22%と最も高く、以下「趣味・芸能に関すること」19%の順になっています。

(2) どのようなところで学習や活動をしましたか？(いくつでも)



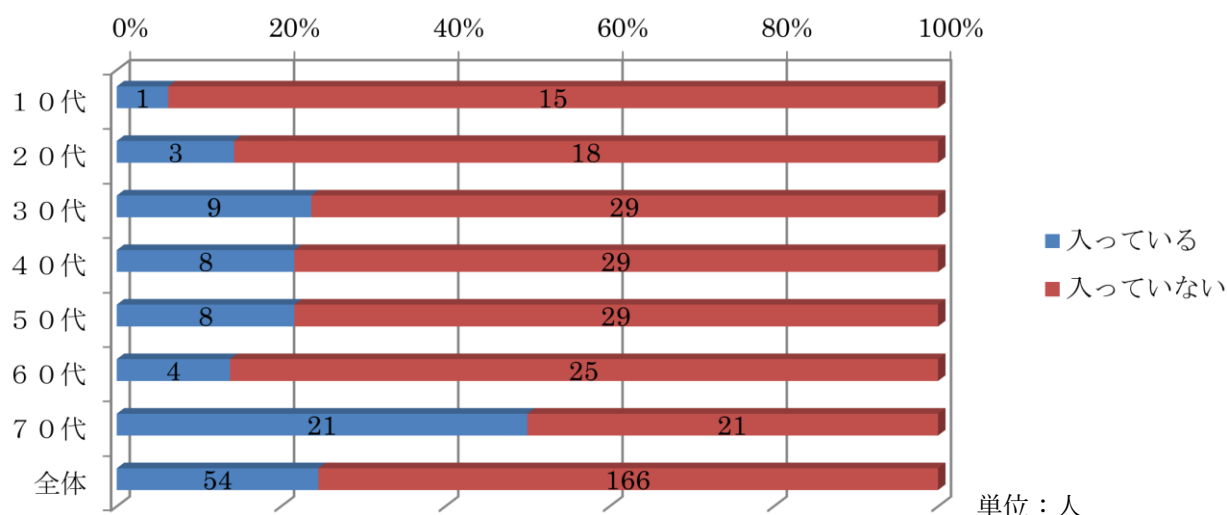
問7で「ある」と答えた71人(のべ100人)に質問したところ、「役場等・公的な機関で主催する学級・講座」、「通信教育、一人で行う学習」、「公民館等での講座」の割合が各19%と3種並んで最も高い状況となっています。

問8 あなたは、学習活動や趣味、スポーツ活動などに関する情報を、主に何から得ていますか。(2つまで)



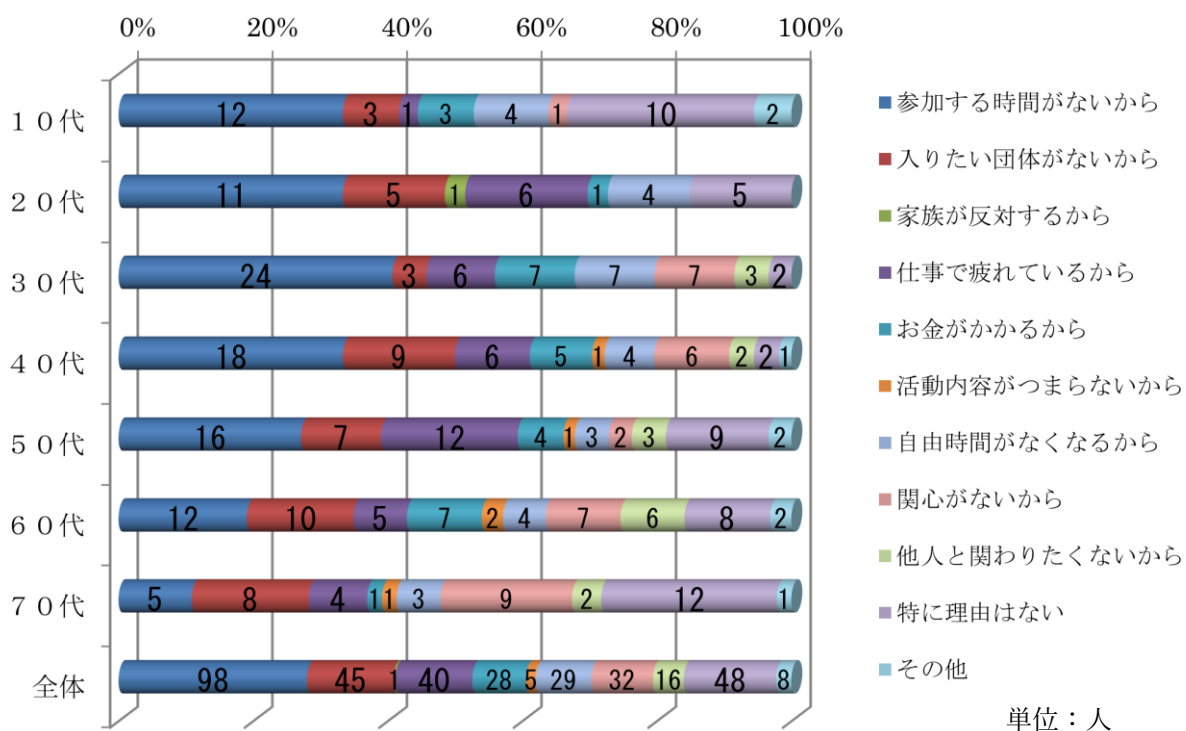
年代別で見ると、20代・60代「テレビ・ラジオ等」、10代・30代・40代・50代・70代「広報おいらせやホームページ」の割合がそれぞれ高くなっています。年代別で情報の取得方法が違うことがわかります。各年代の「その他」の意見の多くが「インターネット」「ツイッター」「LINE」「SNS」でした。特に30代・40代は約15%の割合で高いです。

問9 あなたは、仕事以外の「団体、グループ、サークル」に入っていますか。



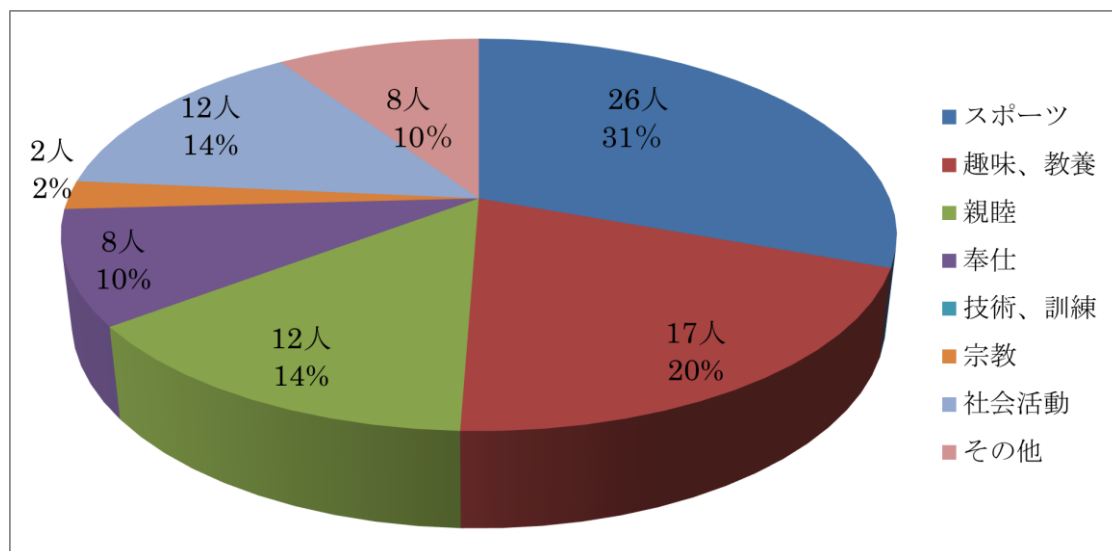
全体で「入っていない」の割合が75%と非常に高くなっています。年代別にみても「入っていない」の割合が高いです。「入っている」の割合が最も高いのは70代で50%です。

問9で「入っていない」と答えた方に理由をおたずねします。(いくつでも)



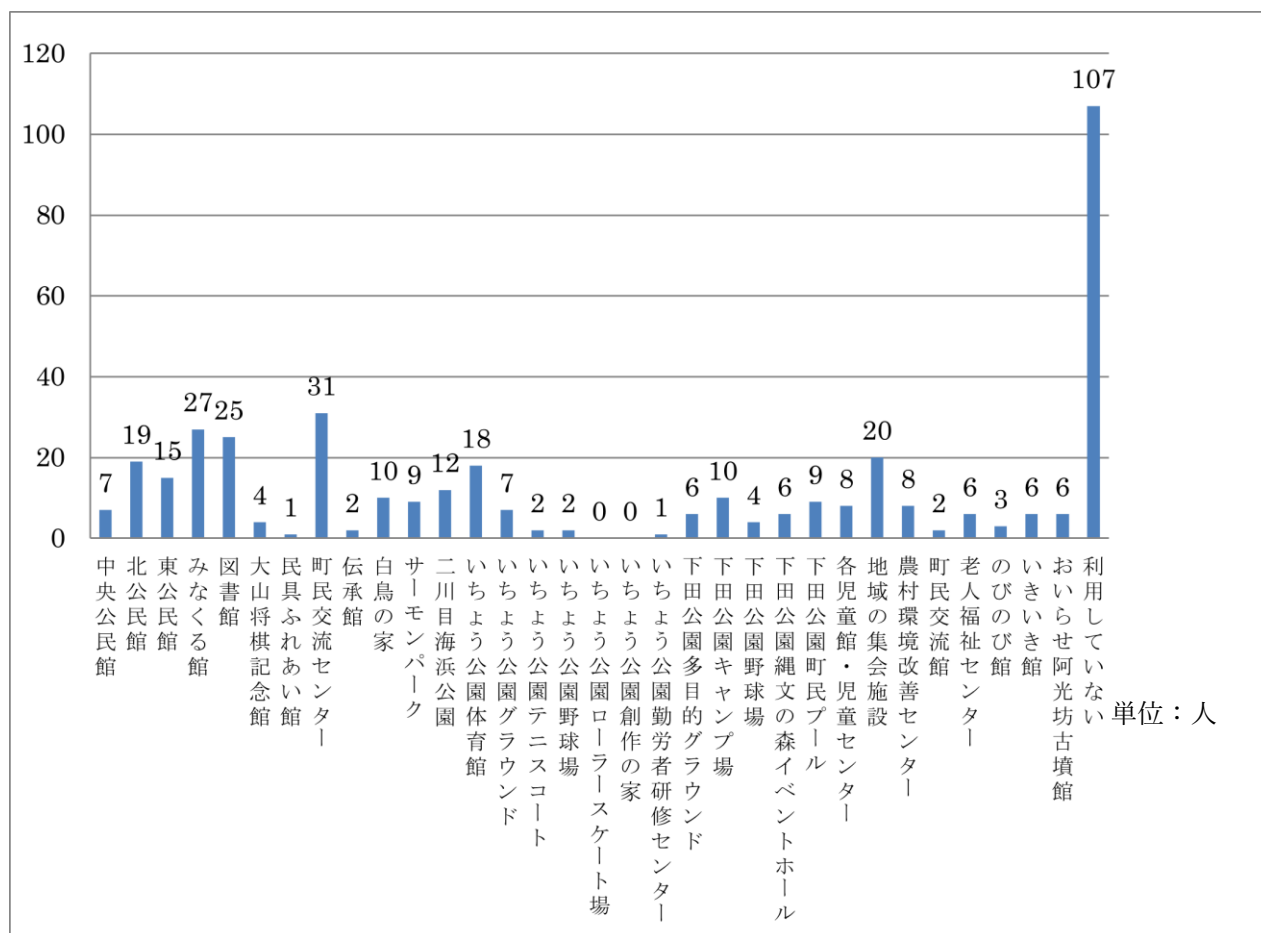
問9で「入っていない」と答えた166人に質問したところ、「参加する時間がないから」が28%と最も割合が高く、次に「特に理由はない」13%でした。年代別にみると10代～60代では「参加する時間がない」の割合が高く、70代になると「特に理由はない」が最も高くなっています。その他の意見に「病気の為」「介護の為」などの理由もありました。

問9で「入っている」と答えた方にどんな活動内容なのかおたずねします。(いくつでも)



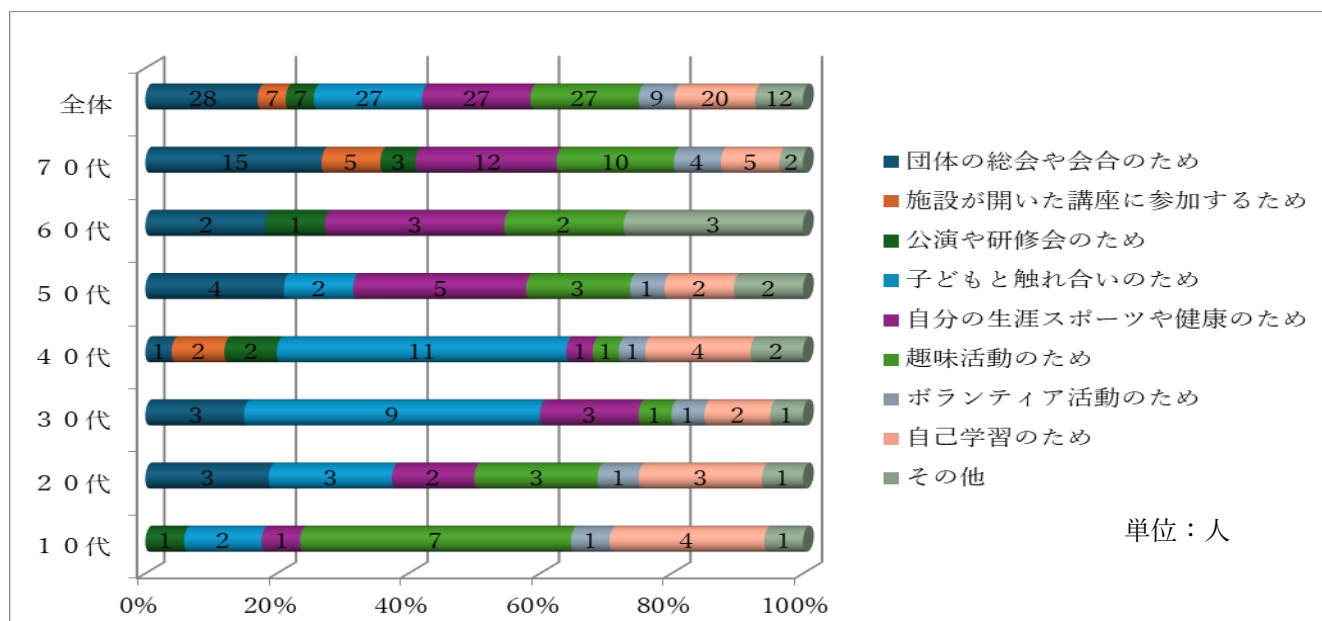
問9で「入っている」と答えた85人に質問したところ、「スポーツ」31%、「趣味・教養」20%の割合が高くなっています。

問10 あなたがこの一年間で利用した町内公共施設は、次のうちどれですか。(いくつでも)



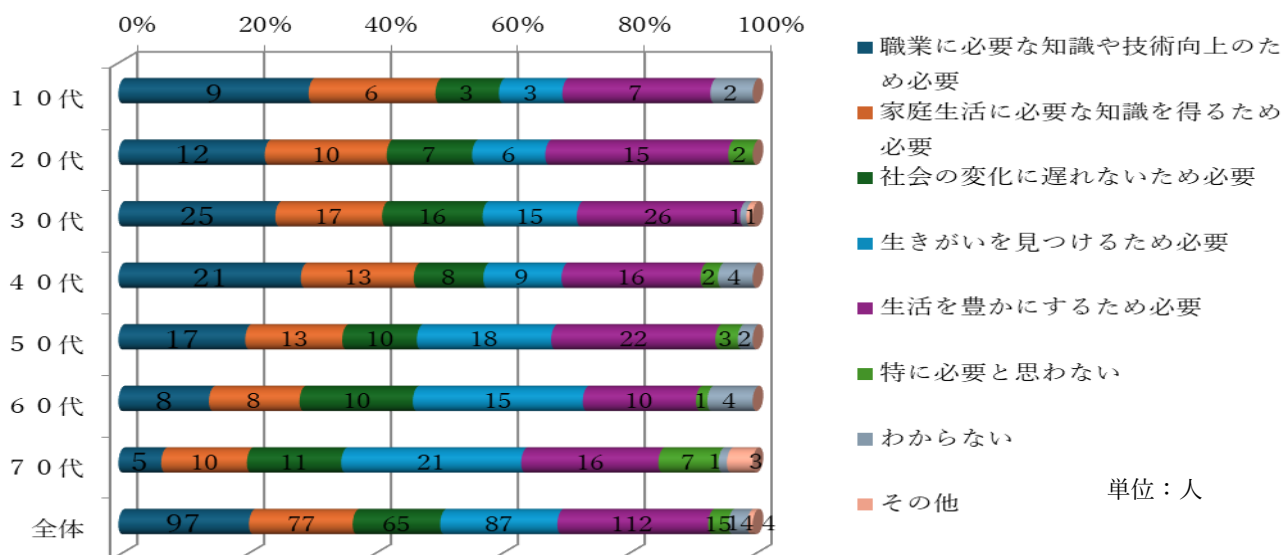
「この一年間で利用した公共施設は」の質問に113人が回答し、そのうち「町民交流センター」の利用の割合が27.4%で最も高く、次いで「みなくる館」23.8%、「図書館」22.1%の順になっています。

問 1 1 その施設を利用した理由をお知らせ下さい。(いくつでも)



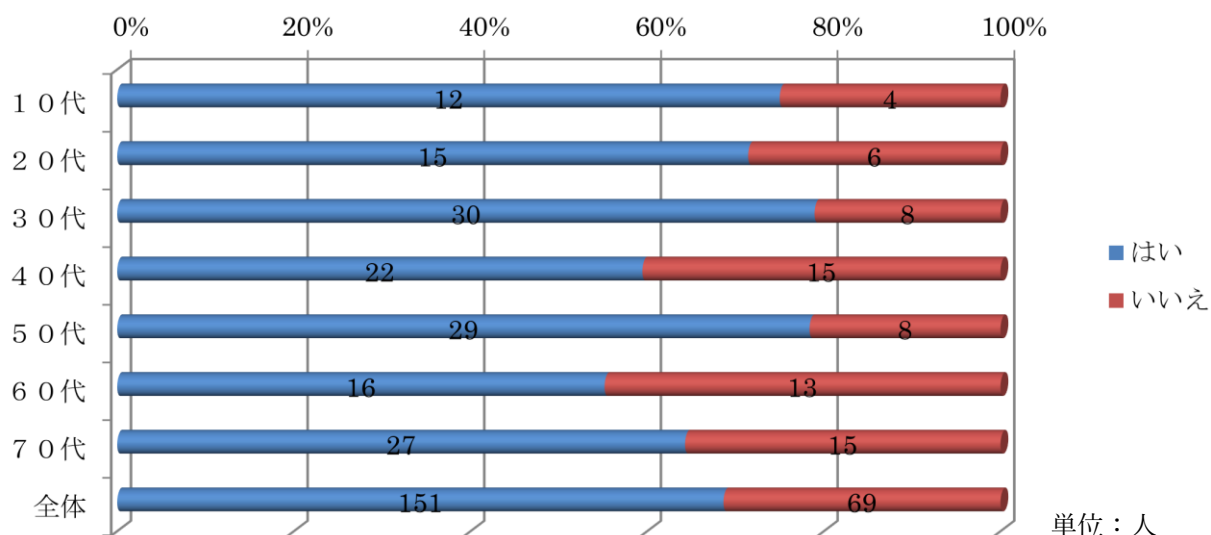
全体では「団体や総会や会合のため」17%と割合が最も高くなっています。次いで「子どもと触れ合いのため」「自分の生涯スポーツや健康のため」「趣味活動のため」16%になります。年代別でみると10代が「趣味活動のため」、30代・40代が「子どもと触れ合いのため」、70代では「団体や総会や会合のため」の割合が高く、年代で施設を利用する理由が異なります。

問 1 2 日常において学習することの必要性についておたずねします。(いくつでも)



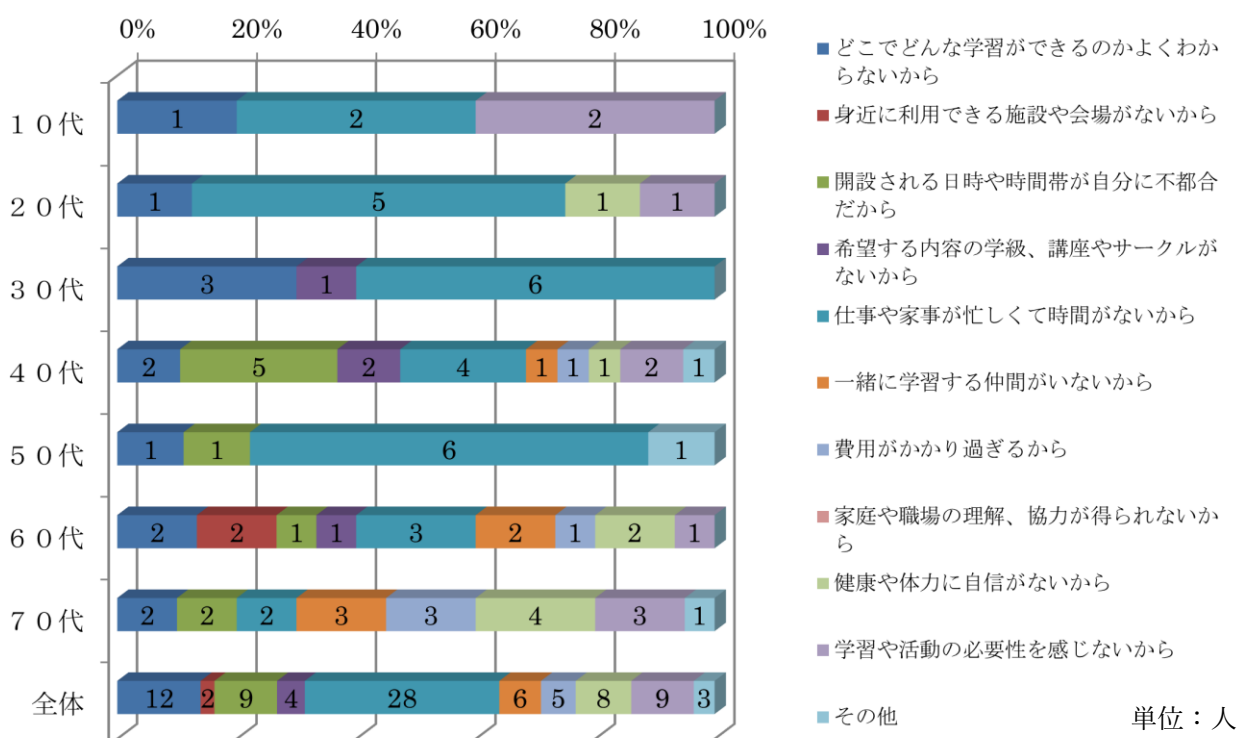
「生活を豊かにするため必要」24%、「職業に必要な知識や技術向上のため必要」21%、「生きがいを見つけるため必要」19%の順になっています。年代別で見ると「職業に必要な知識や技術向上のため必要」は年齢が上がるにつれて減少し、「生きがいを見つけるため必要」が増えてきます。「生活を豊かにするため必要」は年代による差はそれほどないです。

問１３ あなたは、今後、何か学習や活動をしてみたいと思いますか。



全体で見ると「はい」69%「いいえ」31%となっています。30代は「はい」の割合が約79%と割合が非常に高く、何か学習をしてみたいと思っていることがわかります。

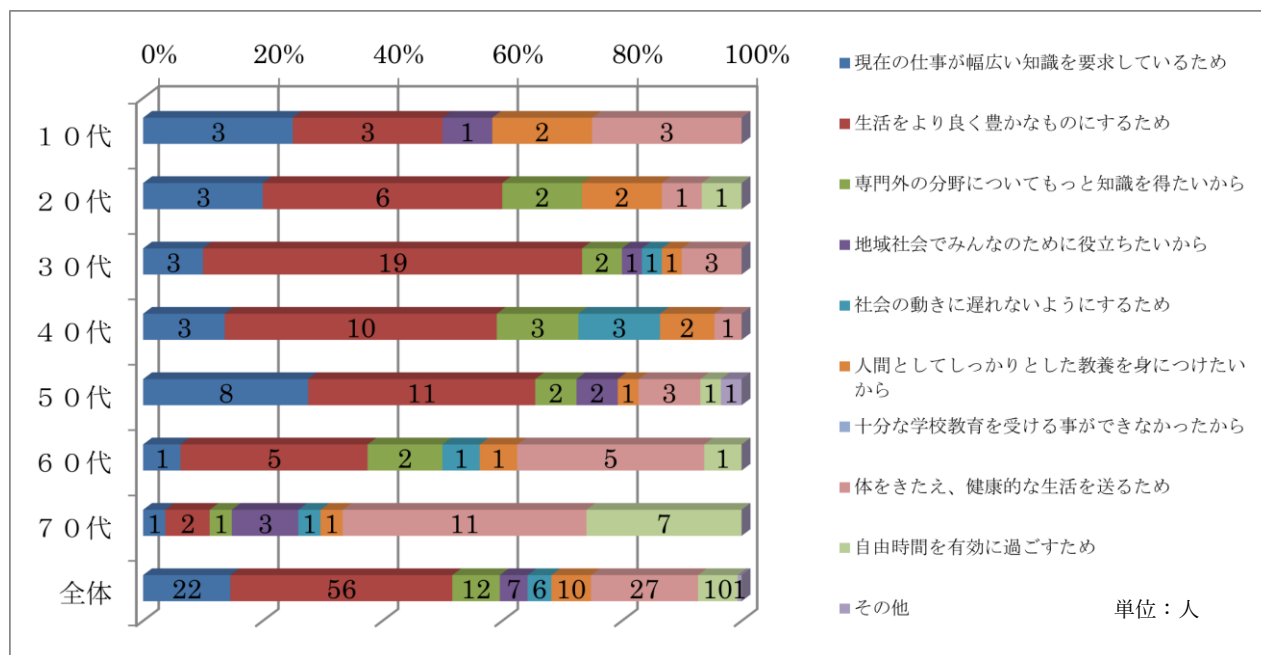
問１３で「いいえ」と答えた方にその理由をおたずねします。(いくつでも)



問１３で「いいえ」と答えた69人に聞いたところ、「仕事が忙しくて時間がないから」の割合が33%と最も高く、以下「どこでどんな学習ができるのかよくわからない」14%、「開設される日時や時間帯が自分に不都合だから」と「学習や活動の必要性を感じないから」が並んで10%の順となっています。

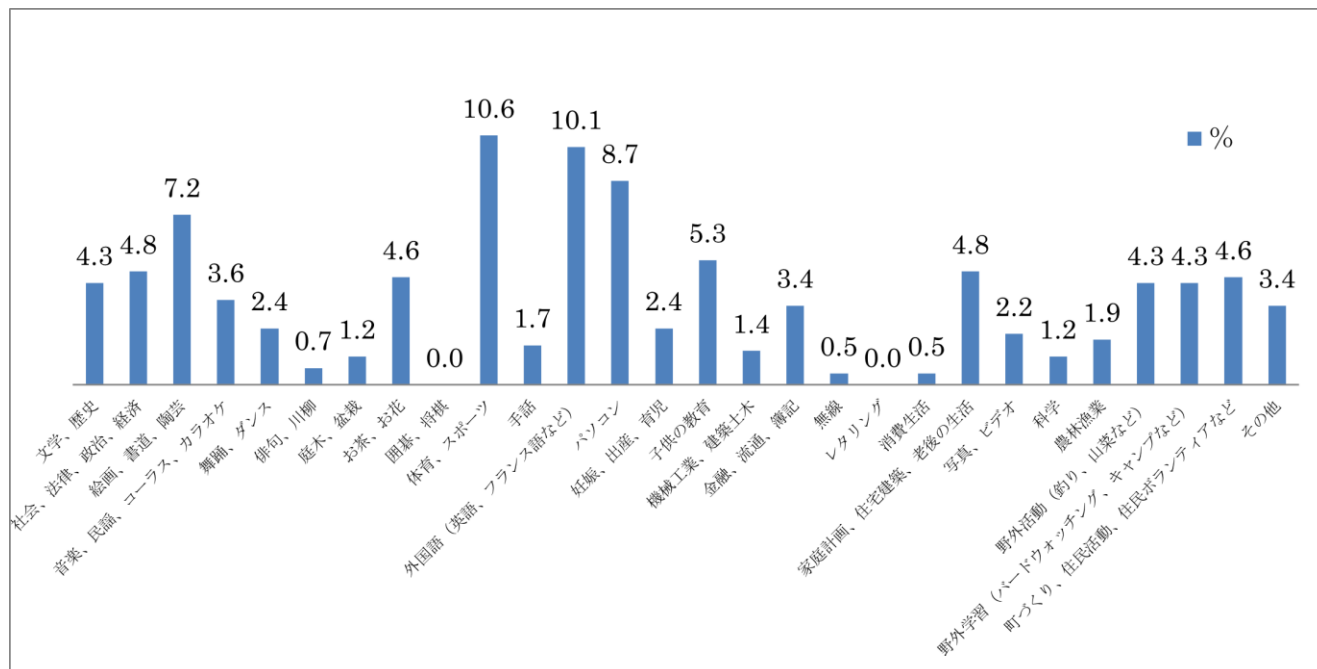
問１３で「はい」と答えた方は、次の（１）～（７）までの問にお答え下さい。

（１）学習活動をしたいと思う主な理由は何ですか。（１つだけ）



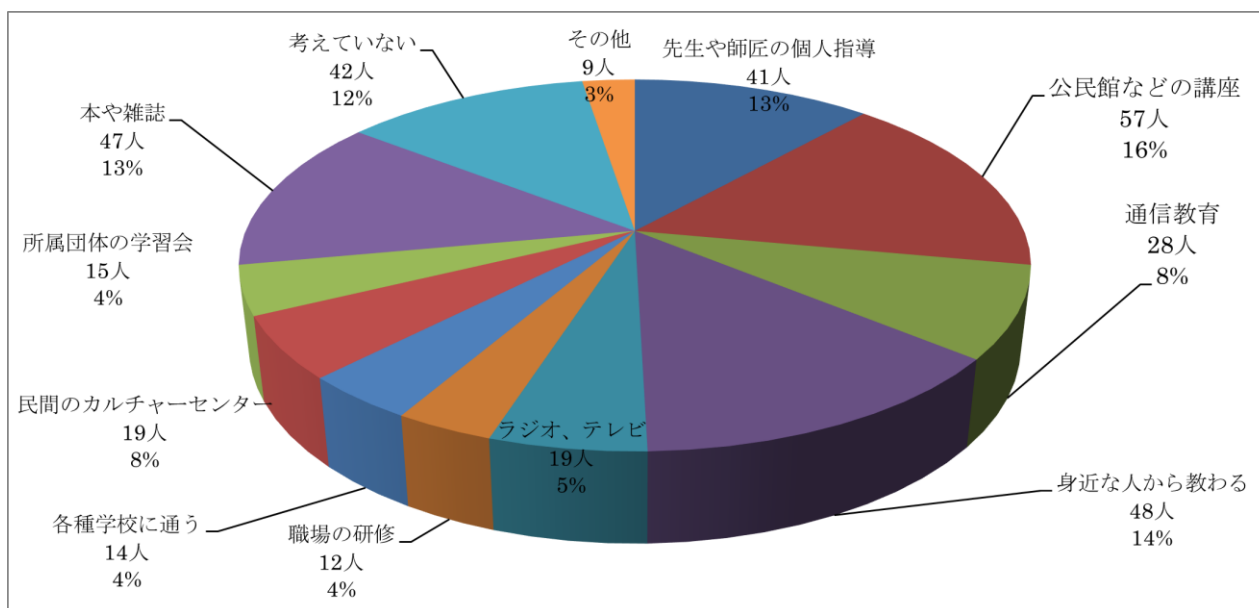
問１３で「はい」と答えた１５１人に聞いたところ、「生活をより良く豊かなものにするため」の割合が３７％と最も高く、以下「体をきたえ、健康的な生活をおくるため」１８％の順になっています。年代別で見ると、若い世代では「生活をより良く豊かなものにするため」、６０代・７０代になると「体をきたえ、健康的な生活を送るため」の割合が高くなっています。

（２）どのような内容のものについて学習したり親しんだりしたいと思いますか。（３つまで）



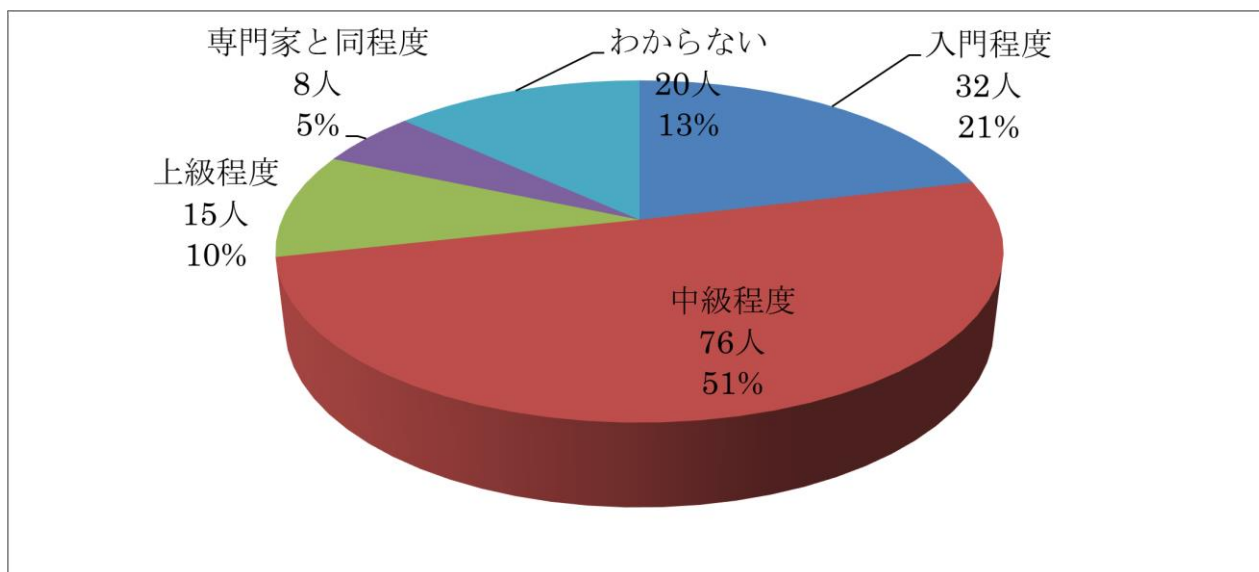
問１３で「はい」と答えた１５１人に聞いたところ、最も多かったのは「体育、スポーツ」１０．６％、以下「外国語」１．１％「パソコン」８．７％の順となっています。

(3) どのような方法で学習したり親しんだりしたいですか。(3つまで)



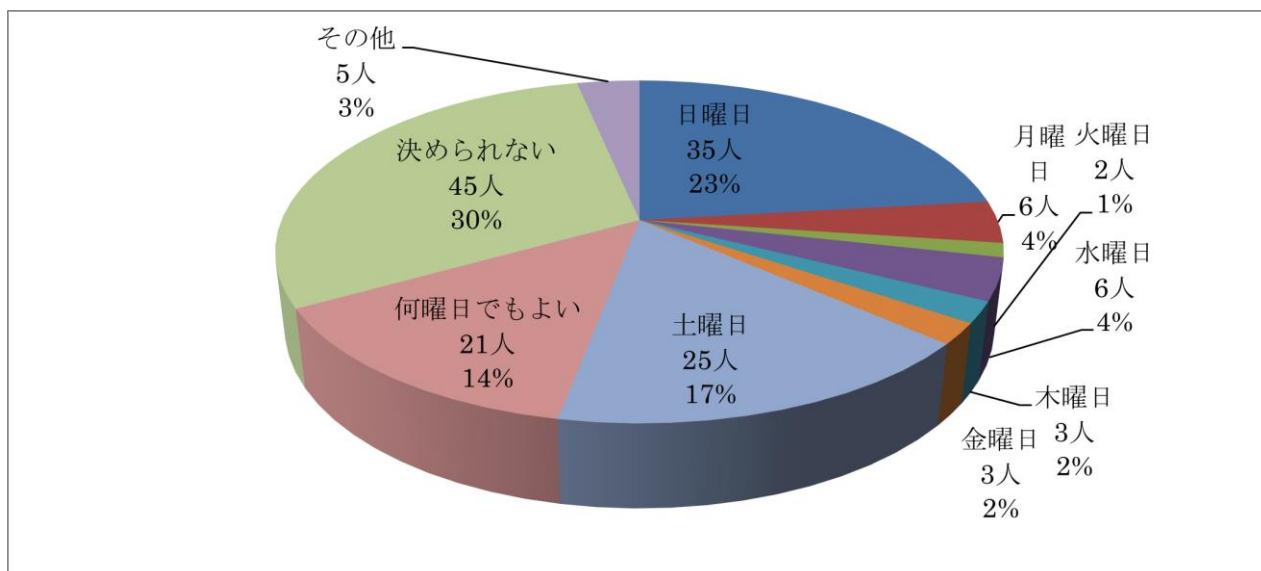
問13で「はい」と答えたのべ351人に聞いたところ、「公民館などの講座」の割合が16%と最も高く、以下「身近な人から教わる」は14%となっています。

(4) どの程度のレベルまで学んだり親しんだりしたいですか。(1つだけ)



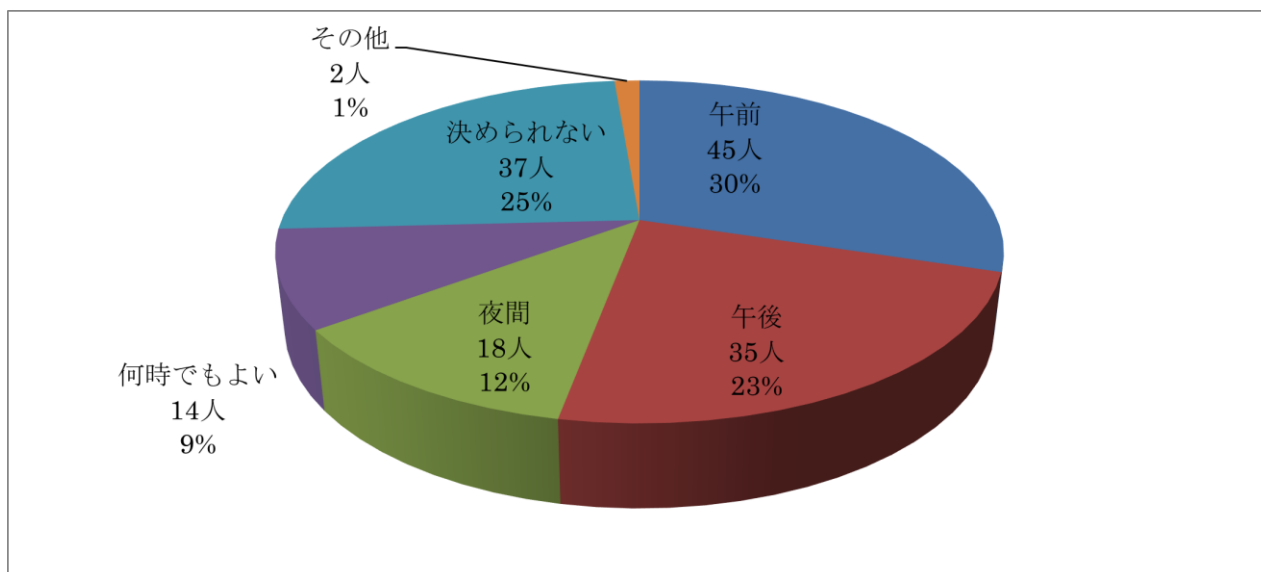
問13で「はい」と答えた151人に聞いたところ、「中級程度」で約51%と割合の高さが目立っています。

(5) あなたが活動するのに都合のよいのは何曜日ですか。(1つだけ)



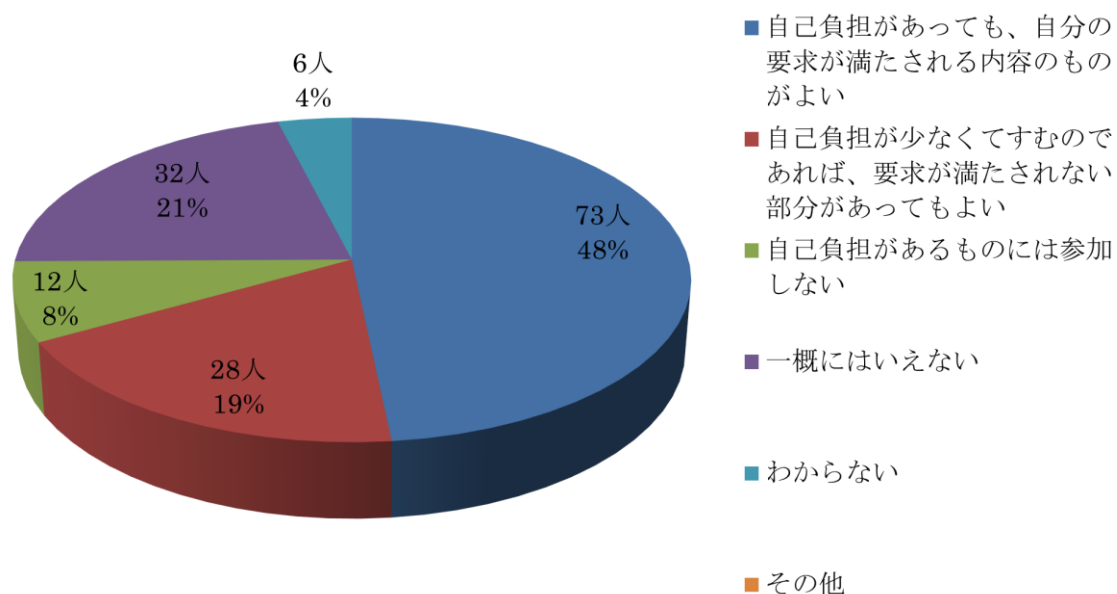
問13で「はい」と答えた151人に聞いたところ、「決められない」が30%と最も割合が高く、次に「日曜日」23%となっています。平日(月～金)の割合は1～4%と低く、活動するには平日以外が都合の良いことがわかります。

(6) 都合のよい時間帯はどれですか。(1つだけ)



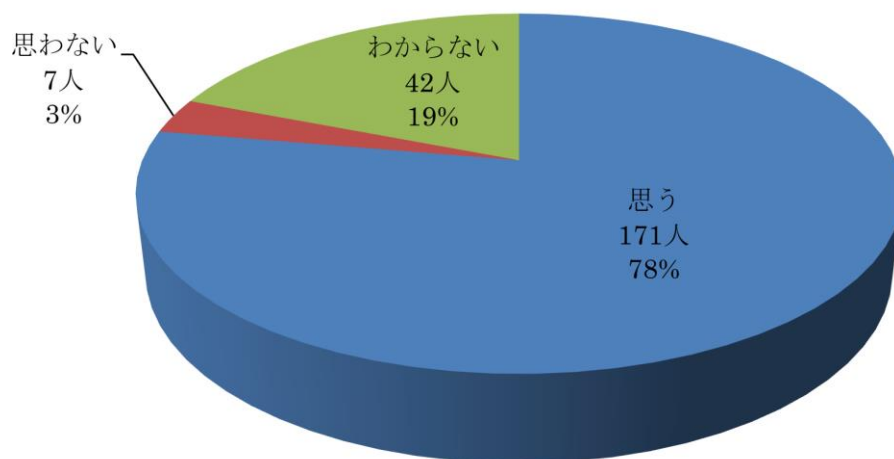
問13で「はい」と答えた151人に聞いたところ、(5)の曜日同様「午前」が30%と最も割合が高くなっています。次に「決められない」25%、「午後」23%の順となっています。

(7) 学習活動と費用負担について、あなたの考えは次のうちどれですか。(1つだけ)



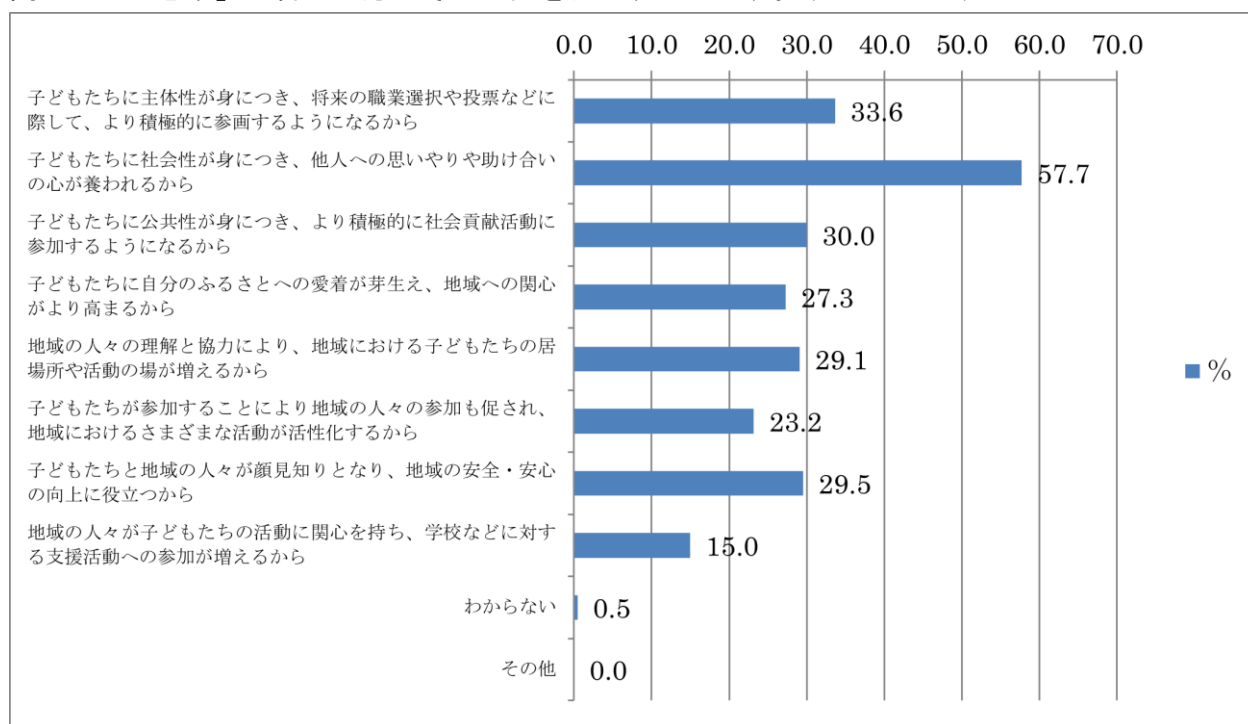
問13で「はい」と答えた151人に聞いたところ、最も割合が高かったのは「自己負担があっても、自分の要求が満たされる内容のものがよい」48%となり、学習活動に意識が高いことがわかります。

問14 あなたは、子どもたちが地域におけるさまざまな活動に参加することは、有意義なことだと思いますか。



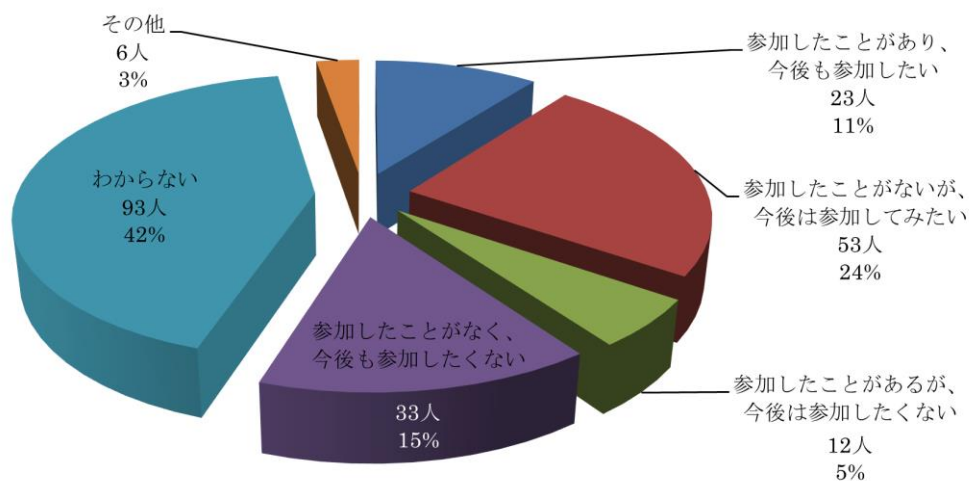
「思う」の割合が78%と非常に高く、「子どもたちが地域におけるさまざまな活動に参加することは、有意義なこと」と思っていることがわかります。

問１４で「思う」と答えた方にその理由をおたずねします。(いくつでも)



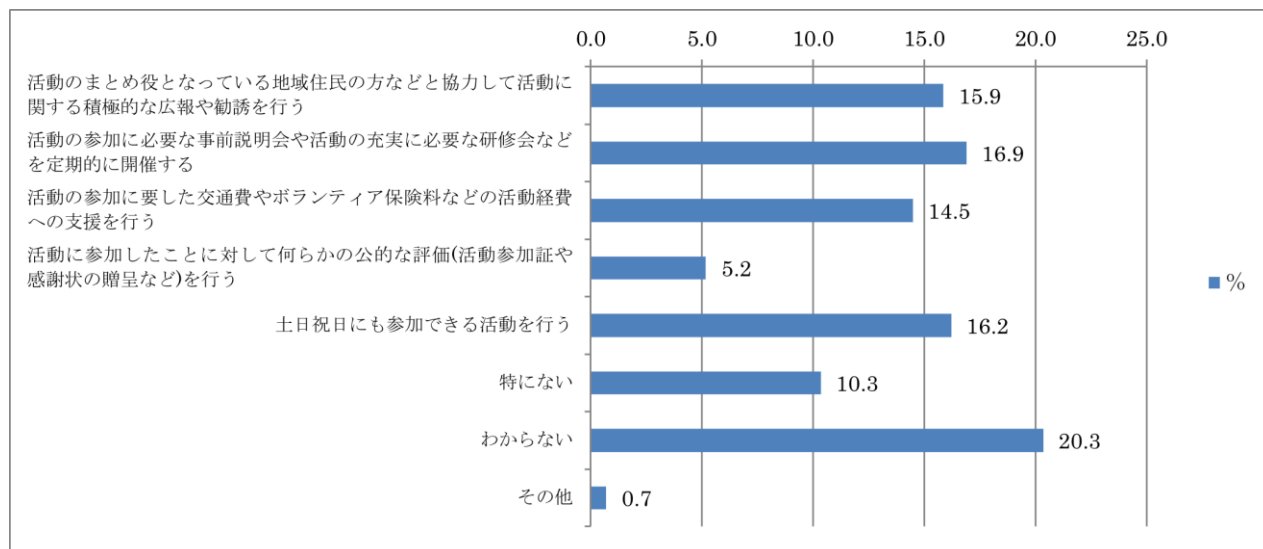
問１４で「思う」と答えた１７１人に聞いたところ、最も多かったのは「子どもたちに社会性が身につく、他人への思いやりや助け合いの心が養われるから」５７.７％で半数以上の１２７人となりました。ほとんどの項目で約２５％を超えており、子どもたちが地域におけるさまざまな活動に参加することに、とても関心が高いということがわかります。

問１５ あなたは、お住まいの地域にある小・中学校を支援する活動に参加したいと思いますか。(１つだけ)



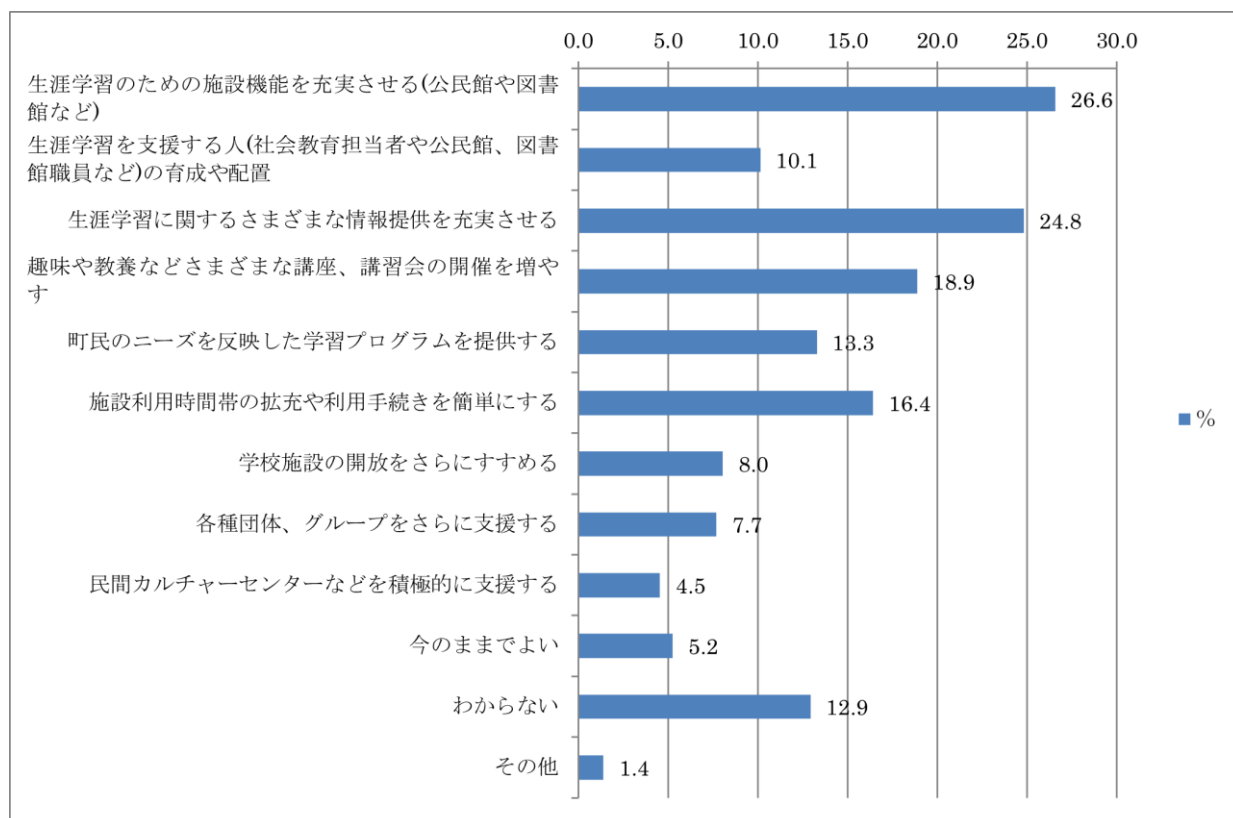
「わからない」４２％と最も割合が高いです。次に「参加したことがないが、今後は参加してみたい」２４％、「参加したことがなく、今後も参加したくない」１５％の順になっています。

問１６ あなたは、地域の人々が小・中学校を支援する活動に参加しやすくするために、学校や教育委員会はどのような環境を整備することが必要であると思いますか。（いくつでも）



「わからない」20.3%が最も多く、次に「活動の参加に必要な事前説明会や活動の充実に必要な研修会などを定期的開催する」16.9%になっています。

問１７ あなたは、町民の生涯学習をもっと盛んにしていくために、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで）



最も多かったのは「生涯学習のための施設機能を充実させる(公民館や図書館など)」26.6%、以下「生涯学習に関するさまざまな情報提供を充実させる」24.8%、「趣味や教養などさまざまな講座、講習会の開催を増やす」18.9%の順になっています。

問 18 その他のご意見

N o	性別	年齢	ご意見
1	女性	70歳代	月2回福祉センターを利用し先生、友達に会い楽しんで学習しています。 私には丁度いいです。ありがとうございます
2	女性	40歳代	子供2人が木ノ下小学校のサッカーのクラブで、夜のグラウンドでサッカーをしています。暗くなると照明が2つしかない所で行っている為、手前の所(5、6年が使用)は見えるのですが奥の所(1～4年が使用)は見えなくて危険です。照明がある所では野球のクラブが使用し、活動日もほぼ重なるので使えない状態です。子供たちが安全な環境で活動する為、照明をつけて欲しいです。 小学校について、おいらせ町は4つの小学校があります。子供は学区外で子供の人数の多い木ノ下小学校に通わせています。勉強だけではなく、たくさんの友達に会って色んな事を学んで欲しいと思っているからです。 今少子化が続いている状況なので、地区の小学校によっては人数が少ない学校があると思うのです。人数が少ない小学校の統合は出来ないのでしょうか。小学校の維持費は莫大にかかると思います。統合出来る所はして、親御さんたちの送り迎え等の負担にならないよう、寺下バスを使用してスクールバスを準備したり、学校の先生や児童館の先生の確保を図るように検討していただきたい。
3	女性	30歳代	子供に向けた社会教育に関して 町民バスに対してより広範囲での運行が必要ではないか。小学校がある地域は最低限カバーするような運行が理想である。例えば、甲洋小学校の学区内がルートから外れているのは利用者が少ないからなのだろうが、そもそも利用者が少ないのは町の施設をどのような場面で利用すれば良いのかなど、生活の中での必要性を感じる機会が中心部の町民より少ないのではないだろうか。小さな町で地域格差が出るのはいかなるものか。甲洋学区のどの家庭でも習い事が必要だと感じているが、学べる場所が少ない、平日は送迎が出来ないことで諦めている家庭も多い。そこを町民バスを子供にとって身近なものに、そして安全に活用出来るよう整備し、そして施設を子供たちのために活用してほしい。「町民バス」ならばどこに住んでいる町民でも利用出来なければ意味がないのでは。そういった地域の利用数が上がれば、全体の利用数の底上げにもなり施設も生き生きする。大人よりも子供たち。その子供たちの平日放課後の時間が有意義なものになるよう町全体で取り組んでほしい。
4	女性	50歳代	生涯学習は必要と思いながらも、やってみたいプログラムがなかったり、あっても時間が合わず参加できなかったりで…なかなか難しいと感じる。
5	女性	30歳代	毎日の生活が忙しくゆとりがないので生涯学習のことまで考えられない。仕事、家事、育児が終わり余裕ができたなら興味がわくのではと思う。
6	女性	30歳代	親の押し付けが起こらない教育を子供へ与えることが大切、子供の自主性をはぐくむ、家庭が不安定なこの居場所を町がつくる、親は立派ですべての親が子供を育てるだけの能力(経験、内面的なもの、経済面など)を備わっていると思わずに、社会全体で子育てをする。
7	男性	50歳代	無料で学習させる
8	女性	30歳代	ネットやPCプログラムを利用出来る環境などがあればより学習内容の充実に繋がるかなと思いました。
9	女性	30歳代	おいらせ町に引っ越してきて、とても過ごしやすく暮らしています。みなくる館の図書館なども、とても助かっていますし、いちよう公園も娘がとても大好きで利用させて頂いています。感謝です。 あったらいいなと思うものですが、子育て世代は忙しく、なかなか講座に参加できません。子供の体調などの急な予定変更も多いです。

			そのため、どんなイベントがどんなときあるのかわかる、アプリや、インスタグラム、Xなどを活用してどんどん発信していただきたいです。また、グーグルマップなどに、イベント開催中などがのるなど、忙しい子育て世代でも気付ける工夫がほしいです。子育てしている人が多いので、毎月一回フリー・マーケットを行う企画などもあれば嬉しいです。色んな世代が交流する機会があるともっとよりよくなるのではないかと考えています！
10	男性	10歳代	今度県外からくる人が就職を考えており、より住みやすいおいらせ町にするためにすこしでもお金の面などでサポート、保護してほしい！
11	男性	60歳代	軽いスポーツがしたい。卓球とかボウリングなど。
12	女性	50歳代	家族の介護をしながら仕事をしていると、時間的にも経済的にも余裕がありません。学びたくても学べない。そういう住民への支援がほしいです。
13	女性	50歳代	障害のある子を育てている為、学校は住居地域ではないし休日でも近くの公園に行くこともない。どのように関わる事が出来るのか、先輩方はどのような生活をしているのか知りたいです。
15	女性	70歳代	料理の講習会など人数が10人とかで一度も行けないので参加者皆さんが行ける様にしてほしいと思います。
16	女性	50歳代	おいらせ、特に（北方向方面）は人口も増加しており、土地施設問題もあると思いますが、図書館があればと思う。学生は学校図書があるが一般は無い気がする。人員配置も問題出ると思うが静かなくつろげる場所も今後ほしい気がする。青葉公園に桜木、学習とは関係ないと思うがあればいいと思う。郵便局はありがたい。
20	女性	70歳代	高齢になると自分を含めて家族の健康に関する情報が欲しいと思う。 地域で暮らしていても仕事を持っていたので知らない人が多い。サークルや趣味の会などで知り合うことがよくあったので公民館活動や講座があると助かると思う。
21	女性	60歳代	受講するきっかけを持てずにずるずると毎日が過ぎていきます。行政は住民の為によく考えていると思います。
22	男性	30歳代	関係ないかもしれませんが行政は町内会から公民館の使用料をもらおうと聞きました。地域学校協働活動についてもボランティア？みんなが必死に働いて生活している人もおられると思いますが。
23	女性	70歳代	勉強の選択肢が少ないと思います。
24	男性	70歳代	社会の変化と共に必要な技能を身につける講座を開催して欲しい。例えば「スマホの使い方講座」「メールの仕方」などデジタル社会を生き抜くための学びの場が欲しいと願うところである。
25	男性	70歳代	北部地区にも図書館があれば老人福祉センター等行事、女の人の参加行事が多いのでは。理念はあるが町としてももう少し金をかければと思う。
26	女性	20歳代	若者や子どもをメインとする町づくりがなければ町内の高齢化は進んでいくばかりだと思うので、施設機能充実だけでなく季節にあったイベントを増やし一年が充実するような、また子どもが楽しめるような町づくりが必要だと思う。
27	男性	70歳代	地球規模の温暖化、地震列島の日本、災害発生時において避難場所となる各施設の資機材備蓄状況を知りたいです。先の能登半島地震発生後の避難所開設時の状況は昔ながらの床にブルーシートを敷き、プライバシー保護の間仕切りもなく過去の災害から何を学んできたのかと避難された皆様にとっても申し訳ない気持ちになりました。（日を経過する毎に各方面から支援物資が届いたようです） 社会教育・生涯学習の範囲外ではありますが町政全体に及ぶ課題であり、一町民として避難指示が発令された状況下を想定してみました。趣味・教養面から逸脱しましたが、生涯学習として防災教育なども取り入れて頂きたいと思います。

社会教育・生涯学習に関するアンケート調査票

町教育委員会では、社会教育・生涯学習についての町民の皆様のご意見をお伺いし、今後の事業計画の参考とするため、このほどアンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、無作為抽出したおいらせ町民700人を対象に無記名により実施し、統計的データとして処理いたします。

お忙しいところお手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【回答方法】

1. 本アンケートは、主にパソコンやスマートフォンなどを用いて、ウェブで回答する形式です。
QRコードを読み取るか、URLを入力して回答フォームへお進みください。
2. アンケートの回答にあたって、氏名やメールアドレス等の登録は必要ありません。
3. 紙での回答を希望される方は、この用紙に鉛筆やボールペン等で直接記入して、同封の返信用封筒に入れてご返信ください。
4. 回答は、令和6年5月5日（日）までにお願いします。

【URLはこちら】

https://apply.e-tumo.jp/town-oirase-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=12703

【QRコードはこちら】



【アンケートを記入する前にお読みください】

●生涯学習の理念（教育基本法第3条）

「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されています。

●社会教育について（社会教育法関係）

生涯学習社会の実現に向けて中核的な役割を果たすべきものが社会教育です。今後、人口減少など社会の大きな変化の中にあって、住民の主体的な参画による持続可能な地域づくりに向けて、社会教育はこれまで以上に役割を果たすことが期待されています。特に、少子高齢化やグローバル化、情報化の中で子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、学校や家庭、地域の抱える課題は複雑化、多様化しています。そうした状況の中で、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを育む仕組みづくりがますます重要になっています。

.....
<お問合せ先>

おいらせ町教育委員会 社会教育・体育課（担当：野崎）

☎ 0178-56-4276
.....

【調査内容】

以下の質問で当てはまる番号に○印をつけて下さい。

問1 はじめに、あなたご自身のことについてお知らせ下さい。

あなたの性別をお知らせ下さい。

- 1 男性 2 女性

問2 あなたの年齢をお知らせ下さい。

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代 5 50歳代
6 60歳代 7 70歳代

問3 あなたの職業をお知らせ下さい。

※2つ以上仕事をされている方は、主な職業に○をつけて下さい。

- 1 農業、林業、漁業の自営業および家庭従事者
2 商工業、サービス業の自営業および家族従事者
3 開業医、弁護士、税理士などの自由業
4 公共企業体などの役員
5 民間企業の会社員
6 公務員、教員、団体職員
7 アルバイト、内職、パート等
8 専業主婦・主夫
9 学生
10 無職
11 その他（ ）

問4 あなたは一月に「休みの日」が何日ありますか。

- 1 四日 2 五日 3 六日 4 七日以上
5 特に定まっていない（その他）

問5 あなたは「休みの日」をどのように過ごす事が多いですか。（3つまで）

- | | | |
|--------------------------------|----------------------|-------------|
| 1 家族団らん | 2 家事、育児 | 3 テレビ、ビデオ視聴 |
| 4 ショッピング | 5 ドライブ、旅行 | 6 スポーツ |
| 7 映画、音楽鑑賞 | 8 野外活動（釣り、散歩、自然観察など） | |
| 9 仕事、アルバイト | 10 研修会、講習会、講座への参加 | |
| 11 日曜大工、園芸など | 12 創作活動（文芸、絵画、手芸など） | |
| 13 囲碁、将棋など | 14 マージャン、パチンコ、ゲームなど | |
| 15 読書 | 16 社会奉仕、団体、ボランティア活動 | |
| 17 友人宅などへ訪問 | 18 何もしない | 19 習い事 |
| 20 その他（ ） | | |

問6 あなたは「休みの日」を本当はどのように過ごしたいと思っていますか。（3つまで）

- | | | |
|--------------|----------------------|-------------|
| 1 家族団らん | 2 家事、育児 | 3 テレビ、ビデオ視聴 |
| 4 ショッピング | 5 ドライブ、旅行 | 6 スポーツ |
| 7 映画、音楽鑑賞 | 8 野外活動（釣り、散歩、自然観察など） | |
| 9 仕事、アルバイト | 10 研修会、講習会、講座への参加 | |
| 11 日曜大工、園芸など | 12 創作活動（文芸、絵画、手芸など） | |
| 13 囲碁、将棋など | 14 マージャン、パチンコ、ゲームなど | |
| 15 読書 | 16 社会奉仕、団体、ボランティア活動 | |
| 17 友人宅などへ訪問 | 18 何もしない | 19 習い事 |
| 20 その他（ | | ） |

問7 あなたはこの一年間に学業や仕事とは別に、学んだり・習ったり・参加したことがありますか。（スポーツ活動、趣味、ボランティア活動も含む）

- 1 ある 2 ない（問8へお進み下さい）



問7で「1 ある」と答えた方は、次の（1）～（2）の問にお答え下さい。

（1）どのような学習や活動をしましたか？（いくつでも）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 職業上必要な教養、技能に関すること | 2 社会問題に関すること |
| 3 一般教養に関すること | 4 趣味、芸能に関すること |
| 5 家庭生活、家庭教育に関すること | 6 健康管理、スポーツに関すること |
| 7 育児、幼児教育に関すること | 8 ボランティアに関すること |
| 9 その他（ | ） |

（2）どのようなところで学習や活動をしましたか？（いくつでも）

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1 公民館等での講座 | 2 大学、高校等での公開講座 |
| 3 通信教育、一人で行う学習 | 4 役場等、公的な機関で主催する学級・講座 |
| 5 個人で先生を依頼して行う学習 | 6 カルチャーセンター等民間で行う学級・講座 |
| 7 演奏会、展示会等への参加 | 8 会社、農協、商工会等が主催する学級・講座 |
| 9 子ども会育成会、婦人会、老人クラブ、PTA等の地域団体活動 | |
| 10 その他（ | ） |

問8 あなたは、学習活動や趣味、スポーツ活動などに関する情報を、主に何から得ていますか。（2つまで）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 新聞、週刊誌など | 2 広報「おいらせ」やホームページ |
| 3 生涯学習情報、公民館のお知らせ | 4 チラシ、ポスターなど |
| 5 グループや所属団体を通じて | 6 役場や各施設に直接聞いて |
| 7 近所の人や知人から | 8 テレビ、ラジオ等 |
| 9 情報に関心がない | 10 その他（ |
| | ） |

問9 あなたは、仕事以外の「団体、グループ、サークル」に入っていますか。

1 入っている

2 入っていない

問9で「2 入っていない」と答えた方に理由をおたずねします（いくつでも）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 参加する時間がないから | 2 入りたい団体がないから |
| 3 家族が反対するから | 4 仕事で疲れているから |
| 5 お金がかかるから | 6 活動内容がつまらないから |
| 7 自由時間がなくなるから | 8 関心がないから |
| 9 他人と関わりたくないから | 10 特に理由はない |
| 11 その他（ | ） |

問9で「1 入っている」と答えた方にどんな活動内容なのかおたずねします。（いくつでも）

- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1 スポーツ | 2 趣味、教養 | 3 親睦 | 4 奉仕 |
| 5 技術、訓練 | 6 宗教 | 7 社会活動 | 8 その他（ |

問10 あなたがこの一年間で利用した町内公共施設は、次のうちどれですか。（いくつでも）

- | | | | |
|---|------------------------|---------------|------------|
| 1 中央公民館 | 2 北公民館 | 3 東公民館 | 4 みなくる館 |
| 5 図書館 | 6 大山将棋記念館 | 7 民具ふれあい館 | 8 町民交流センター |
| 9 伝承館 | 10 白鳥の家 | 11 サーモンパーク | 12 二川目海浜公園 |
| いちょう公園（13 体育館 14 グラウンド 15 テニスコート 16 野球場 | | | |
| 17 ローラースケート場 18 創作の家 19 勤労者研修センター） | | | |
| 下田公園（20 多目的グラウンド 21 キャンプ場 22 野球場 | | | |
| 23 縄文の森イベントホール 24 町民プール） | | | |
| 25 各児童館・児童センター | 26 地域の集会施設 | 27 農村環境改善センター | |
| 28 町民交流館 | 29 老人福祉センター | 30 のびのび館 | 31 いきいき館 |
| 32 おいらせ阿光坊古墳館 | 33 利用していない（問12へお進み下さい） | | |

問11 その施設を利用した理由をお知らせ下さい。（いくつでも）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 団体の総会や会合のため | 2 施設が開いた講座に参加するため |
| 3 公演や研修会のため | 4 子どもと触れ合いのため |
| 5 自分の生涯スポーツや健康のため | 6 趣味活動のため |
| 7 ボランティア活動のため | 8 自己学習のため |
| 9 その他（ | ） |

問12 日常において学習することの必要性についておたずねします。(いくつでも)

- 1 職業に必要な知識や技術向上のため必要
- 2 家庭生活に必要な知識を得るため必要
- 3 社会の変化に遅れないため必要
- 4 生きがいを見つけるため必要
- 5 生活を豊かにするため必要
- 6 特に必要と思わない
- 7 わからない
- 8 その他 ()

問13 あなたは、今後、何か学習や活動をしてみたいと思いますか。

※新規、継続の方は「1 はい」に○を付けて下さい。

- 1 はい 2 いいえ

問13で「2 いいえ」と答えた方にその理由をおたずねします。(いくつでも)

- 1 どこでどんな学習ができるのかよくわからないから
- 2 身近に利用できる施設や会場がないから
- 3 開設される日時や時間帯が自分に不都合だから
- 4 希望する内容の学級、講座やサークルがないから
- 5 仕事や家事が忙しくて時間がないから
- 6 一緒に学習する仲間がないから
- 7 費用がかかり過ぎるから
- 8 家庭や職場の理解、協力が得られないから
- 9 健康や体力に自信がないから
- 10 学習や活動の必要性を感じないから
- 11 その他 ()

問13で「1 はい」と答えた方は、次の(1)～(7)までの間にお答え下さい。

(1) 学習活動をしたいと思う主な理由は何ですか。(1つだけ)

- 1 現在の仕事が幅広い知識を要求しているため
- 2 生活をより良く豊かなものにするため
- 3 専門外の分野についてもっと知識を得たいから
- 4 地域社会でみんなのために役立ちたいから
- 5 社会の動きに遅れないようにするため
- 6 人間としてしっかりした教養を身につけたいから
- 7 十分な学校教育を受けることができなかったから
- 8 体をきたえ、健康的な生活を送るため
- 9 自由時間を有効に過ごすため
- 10 その他 ()

(2) どのような内容のものについて学習したり親しんだりしたいと思いますか。(3つまで)

- | | | | |
|---------------------------|--------------------|--------------------|-----------|
| 1 文学、歴史 | 2 社会、法律、政治、経済 | | |
| 3 絵画、書道、陶芸 | 4 音楽、民謡、コーラス、カラオケ | | |
| 5 舞踊、ダンス | 6 俳句、川柳 | 7 庭木、盆栽 | |
| 8 お茶、お花 | 9 囲碁、将棋 | 10 体育、スポーツ | |
| 11 手話 | 12 外国語（英語、フランス語など） | | |
| 13 パソコン | 14 妊娠、出産、育児 | 15 子どもの教育 | |
| 16 機械工業、建築土木 | 17 金融、流通、簿記 | 18 無線 | |
| 19 レタリング | 20 消費生活 | 21 家庭計画、住宅建築、老後の生活 | 22 写真、ビデオ |
| 23 科学 | 24 農林漁業 | | |
| 25 野外活動（釣り、山菜など） | | | |
| 26 野外学習（バードウォッチング、キャンプなど） | | | |
| 27 町づくり、住民活動、住民ボランティアなど | | | |
| 28 その他（ ） | | | |

(3) どのような方法で学習したり親しんだりしたいですか。(3つまで)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 先生や師匠の個人指導 | 2 公民館などの講座 |
| 3 通信教育 | 4 身近な人から教わる |
| 5 ラジオ、テレビ | 6 職場の研修 |
| 7 各種学校に通う | 8 民間のカルチャーセンター |
| 9 所属団体の学習会 | 10 本や雑誌 |
| 11 考えていない | 12 その他（ ） |

(4) どの程度のレベルまで学んだり親しんだりしたいですか。(1つだけ)

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| 1 入門程度 | 2 中級程度 | 3 上級程度 |
| 4 専門家と同程度 | 5 わからない | |

(5) あなたが活動するのに都合のよいのは何曜日ですか。(1つだけ)

- | | | | |
|----------|-----------|-------|-----------|
| 1 日曜日 | 2 月曜日 | 3 火曜日 | 4 水曜日 |
| 5 木曜日 | 6 金曜日 | 7 土曜日 | 8 何曜日でもよい |
| 9 決められない | 10 その他（ ） | | |

(6) 都合のよい時間帯はどれですか。(1つだけ)

- | | | | |
|----------|----------|------|----------|
| 1 午前 | 2 午後 | 3 夜間 | 4 何時でもよい |
| 5 決められない | 6 その他（ ） | | |

(7) 学習活動と費用負担について、あなたの考えは次のうちどれですか。(1つだけ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 自己負担があっても、自分の要求が満たされる内容のものがよい |
| 2 自己負担が少なくてすむのであれば、要求が満たされない部分があってもよい |
| 3 自己負担があるものには参加しない |
| 4 一概にはいえない |
| 5 わからない |
| 6 その他（ ） |

問14 あなたは、子どもたちが地域におけるさまざまな活動に参加することは、有意義なことだと思いますか。

- 1 思う 2 思わない 3 わからない



問14で「1 思う」と答えた方にその理由をおたずねします。(いくつでも)

- 1 子どもたちに主体性が身につく、将来の職業選択や投票などに際して、より積極的に参画するようになるから
- 2 子どもたちに社会性が身につく、他人への思いやりや助け合いの心が養われるから
- 3 子どもたちに公共性が身につく、より積極的に社会貢献活動に参加するようになるから
- 4 子どもたちに自分のふるさとへの愛着が芽生え、地域への関心がより高まるから
- 5 地域の人々の理解と協力により、地域における子どもたちの居場所や活動の場が増えるから
- 6 子どもたちが参加することにより地域の人々の参加も促され、地域におけるさまざまな活動が活性化するから
- 7 子どもたちと地域の人々が顔見知りとなり、地域の安全・安心の向上に役立つから
- 8 地域の人々が子どもたちの活動に関心を持ち、学校などに対する支援活動への参加が増えるから
- 9 わからない
- 10 その他 ()

問15 あなたは、お住まいの地域にある小・中学校を支援する活動に参加したいと思いますか。(1つだけ)

- 1 参加したことがあり、今後も参加したい
2 参加したことがないが、今後は参加してみたい
3 参加したことがあるが、今後は参加したくない
4 参加したことがなく、今後も参加したくない
5 わからない
6 その他 ()

問 16 あなたは、地域の人々が小・中学校を支援する活動に参加しやすくするために、学校や教育委員会はどのような環境を整備することが必要であると思いますか。

(いくつでも)

- 1 活動のまとめ役となっている地域住民の方などと協力して活動に関する積極的な広報や勧誘を行う
- 2 活動の参加に必要な事前説明会や活動の充実に必要な研修会などを定期的を開催する
- 3 活動の参加に要した交通費やボランティア保険料などの活動経費への支援を行う
- 4 活動に参加したことに対して何らかの公的な評価（活動参加証や感謝状の贈呈など）を行う
- 5 土日祝日にも参加できる活動を行う
- 6 特にない
- 7 わからない
- 8 その他（ ）

問 17 あなたは、町民の生涯学習をもっと盛んにしていくために、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで)

- 1 生涯学習のための施設機能を充実させる（公民館や図書館など）
- 2 生涯学習を支援する人（社会教育担当者や公民館、図書館職員など）の育成や配置
- 3 生涯学習に関するさまざまな情報提供を充実させる
- 4 趣味や教養などさまざまな講座、講習会の開催を増やす
- 5 町民のニーズを反映した学習プログラムを提供する
- 6 施設利用時間帯の拡充や利用手続きを簡単にする
- 7 学校施設の開放をさらにすすめる
- 8 各種団体、グループをさらに支援する
- 9 民間カルチャーセンターなどを積極的に支援する
- 10 今のままでよい
- 11 わからない
- 12 その他（ ）

問18 その他、社会教育・生涯学習に関するご意見等ございましたらご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

おいらせ町の社会教育施設

令和7年1月1日現在

■公民館等

	名 称	住 所	電話番号
1	おいらせ町立中央公民館	中下田 159	0178-56-2251
2	おいらせ町立東公民館	上明堂 88-2	0178-52-2061
3	おいらせ町立北公民館	青葉二丁目 50-1395	0176-57-0033
4	おいらせ町みなくる館	下前田 145-1	0178-52-3900
5	おいらせ町立図書館	下前田 145-1	0178-52-3900
6	大山将棋記念館	下前田 144-1	0178-56-4276
7	おいらせ町創作の家	沼端 14-161	0178-56-4276
8	おいらせ町民具ふれあい館	中下田 125-1	0178-56-4276
9	おいらせ町民交流センター	中下田 125-2	0178-56-4711
10	おいらせ阿光坊古墳館	阿光坊 107-4	0178-20-0405

■小・中学校

	名 称	住 所	電話番号
1	おいらせ町立百石小学校	牛込平 20-2	0178-52-2458
2	おいらせ町立甲洋小学校	一川目四丁目 6-10	0178-52-3464
3	おいらせ町立下田小学校	舘越 38-1	0178-56-2250
4	おいらせ町立木内々小学校	染屋 101-7	0178-56-3562
5	おいらせ町立木ノ下小学校	青葉六丁目 50-184	0176-57-0222
6	おいらせ町立百石中学校	東下谷地 116	0178-52-2454
7	おいらせ町立下田中学校	立蛇 114-3	0178-56-2640
8	おいらせ町立木ノ下中学校	上久保 22-2	0178-56-2245

おいらせ町の文化財

令和 7 年 1 月 1 日現在

■国指定文化財

No.	名 称	指定種別	指定年月日
1	八戸地方えんぶり 百石えんぶり	無形民俗文化財	昭和 54 年 2 月 3 日
2	阿光坊古墳群	史跡	平成 19 年 7 月 26 日

■県指定文化財

No.	名 称	指定種別	指定年月日
1	聖観世音菩薩立像	彫刻	昭和 56 年 4 月 18 日
2	根岸の大いちょう	天然記念物	平成 6 年 4 月 25 日

■町指定文化財

No.	名 称	指定種別	指定年月日
1	日ヶ久保虎舞	無形民俗文化財	昭和 51 年 11 月 1 日
2	本村鶏舞	無形民俗文化財	昭和 59 年 5 月 17 日
3	本村獅子舞	無形民俗文化財	昭和 59 年 5 月 17 日
4	天神様のイチイ	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
5	カドのイチイ	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
6	天王様のイチイ	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
7	チョウエン坊塚のイチイ	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
8	下ノ家のケヤキ	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
9	阿弥陀八幡宮のケヤキ	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
10	神明宮の杉	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
11	氣比神社の杉	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
12	氣比神社のカシワ	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
13	天満宮のモミ	天然記念物	昭和 61 年 11 月 17 日
14	一里塚	史跡	昭和 62 年 11 月 24 日
15	馬頭観音のイチイ	天然記念物	昭和 62 年 11 月 24 日
16	稲荷神社のヒノキ	天然記念物	昭和 62 年 11 月 24 日
17	天神様のヒノキアスナロ	天然記念物	昭和 62 年 11 月 24 日
18	法霊社のイタヤカエデ	天然記念物	昭和 62 年 11 月 24 日

おいらせ町の埋蔵文化財等包蔵地名一覧

令和7年1月1日現在

No.	遺跡名（フリガナ）	遺跡名	所在地
1	タテコシダテ	館越館	沼端
2	ヌマハタイセキ	沼端遺跡	松原一丁目73-460
3	ギンコウヤマカッコイチセキ	銀行山(1)遺跡	沼端14-184・161外
4	センガリダセキ	千刈田遺跡(表示なし)	千刈田11
5	ヒガシシモヤチカッコイチセキ	東下谷地(1)遺跡	内山平74-723
6	ヒガシクボカイヅカ	日ヶ久保貝塚	沼端14-248外
7	ムカイタイセキ	向平遺跡	向平22-73
8	ギンコウヤマカッコニセキ	銀行山(2)遺跡	沼端14-184外
9	ヒガシシモヤチカッコニセキ	東下谷地(2)遺跡	東下谷地115-716外
10	シモヤチカッコサンセキ	下谷地(3)遺跡	東下谷地45-1外
11	モモイショウチエンセキ	百石幼稚園遺跡	沼端14-127外
12	ヌマハタイヅカ	沼端貝塚	沼端14-208外
13	ネギシセキ	根岸遺跡	東下谷地
14	ムカイヤマカッコイチセキ	向山(1)遺跡	向山
15	ムカイヤマカッコニセキ	向山(2)遺跡	向山
16	ムカイヤマカッコサンセキ	向山(3)遺跡	向山
17	ジウサンモリセキ	十三森(1)遺跡	神明前
18	テンジンヤマセキ	天神山遺跡	神明前
19	シモヤチカッコイチセキ	下谷地(1)遺跡	西下谷地
20	フクベカッコイチセキ	ふくべ(1)遺跡	瓢
21	フクベカッコニセキ	ふくべ(2)遺跡	瓢
22	フクベカッコサンセキ	ふくべ(3)遺跡	瓢
23	シンメイマイセキ	神明前遺跡	神明前105
24	チッチョウホウヅカフンボ	チッチョウ坊塚墳墓	洗平
25	アライダカッコイチセキ	洗平(1)遺跡	洗平
26	アライダカッコニセキ	洗平(2)遺跡	洗平
27	フクベカッコヨンセキ	ふくべ(4)遺跡	瓢
28	シバヤマカッコイチセキ	柴山(1)遺跡	瓢
29		欠番	
30	フクベカッコナナセキ	ふくべ(7)遺跡	瓢
31	フクベカッコハチセキ	ふくべ(8)遺跡	瓢
32	フクベカッコキュウセキ	ふくべ(9)遺跡	瓢
33	シモヤチカッコニセキ	下谷地(2)遺跡	西下谷地

34	タチジ`ャカッコイイセキ	立蛇(1)遺跡	立蛇
35	タチジ`ャカッコニイセキ	立蛇(2)遺跡	立蛇、中下田、西前川原
36	シモダ`ダ`テ	下田館	館越
37	フルダ`テ	古館（表示なし）	館越
38	アコウボ`ウイセキ	阿光坊遺跡	阿光坊105-43
39	ナカノタイイセキ	中野平遺跡	中野平下長根山1-138外
40	ムカイヤマカッコヨニイセキ	向山(4)遺跡	向山2440-1外
41	キノシタイチリツ`カ	木ノ下一里塚	浜道89-7
42	ムカイヤマカッココ`イセキ	向山(5)遺跡	向山2465-1外
43	ムカイヤマカッコロクイセキ	向山(6)遺跡	向山
44	ジ`ュウサンモリカッコニイセキ	十三森(2)遺跡	阿光坊
45	ムカイヤマカッコナナイセキ	向山(7)遺跡	向山
46	ムカイヤマカッコハチイセキ	向山(8)遺跡	向山

※No.29 は欠番

※No.46 は令和4年度追加

おいらせ町社会教育計画検討委員会委員名簿

No.	選任区分	所 属 等	氏 名	備 考
1	社会教育委員	おいらせ町社会教育委員会議 委員長	百目鬼 正得	委員長
2	公民館運営審議会 委員	おいらせ町公民館運営審議会 副委員長	西舘 清誉	副委員長
3	図書館協議会 委員	おいらせ町図書館協議会 副会長	小向 恵子	
4	文化財保護審議会 委員	おいらせ町文化財保護審議会 委員	堤 靖子	
5	芸術文化関係団体 役員	おいらせ町文化協会 副会長	小笠原 牧子	
6	その他必要と認めた者 (青少年健全育成関係)	おいらせ町青少年育成町民会議 会長	村田 昭子	

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

おいらせ町社会教育委員名簿

No.	選任区分	氏 名	町内名	備 考
1	学識経験	百目鬼 正 得	新 町	委員長
2	学識経験	田 澤 久仁於	根 岸	副委員長
3	家庭教育	奥 平 純 代	緑ヶ丘	
4	社会教育	浜 田 祐 子	一 川 目	
5	学識経験	高 橋 宏 典	曙	
6	学校教育	伊 東 明 子	下田小学校長	
7	社会教育	村 田 昭 子	豊 原	
8	社会教育	種 市 い よ	向 山	
9	公 募	福 原 仁 一	緑ヶ丘	
10	公 募	和 田 茂 憲	青 葉	

任期：平成6年4月1日～令和8年3月31日

○おいらせ町執行機関の附属機関の設置等に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例で別に定めるもののほか、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定により、執行機関の附属機関の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 執行機関 地方自治法第138条の4第1項の規定に基づき、町に執行機関として置かれる町長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいう。
- (2) 附属機関 地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、執行機関の附属機関として法律又はこの条例により設置するものをいう。
- (3) 会長等 附属機関を代表する者又は附属機関の会務を総括する者として附属機関に置かれる会長又は委員長をいう。

(附属機関の設置)

第3条 町長の附属機関として別表第1、教育委員会の附属機関として別表第2及び町長及び教育委員会の附属機関として別表第3に掲げる附属機関を設置するものとし、附属機関の所掌事項、委員の定数、委員の構成、委員の任期、会長等の選任方法及び庶務担当課は、同表の当該各欄に掲げるとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、附属機関の委員に欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員の委嘱等)

第4条 附属機関の委員は、法律に別に定めのあるものを除くほか、別表に掲げるもののうちから必要に応じ執行機関が委嘱又は任命を行うものとする。

2 附属機関の委員は、再任を妨げないものとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、会長等を置く。

2 会長等は、会務を総括し、附属機関を代表する。

3 附属機関に、会長職務代理者、副会長又は副委員長（以下「副会長等」という。）を置くことができる。

4 副会長等は、会長等に事故があるとき、又は会長等が欠けたときは、会長の職務を代理する。

(臨時委員)

第6条 附属機関に特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員若干名を置くことができる。

2 臨時委員は、執行機関が委嘱し、又は任命する。

3 臨時委員は、その特別の事項に関する調査審議が終了した場合は、解任されるものとする。

(会議)

第7条 附属機関の会議は、会長等が招集し、会長等がその会議の議長となる。

2 前項の規定にかかわらず、執行機関が附属機関の委員に対し委嘱を行うときの附属機関の会議は、執行機関が招集する。

3 附属機関の会議は、委員及び議事に関係のある臨時委員（以下単に「委員」という。）の過半数が出席しなければ開くことができない。

4 附属機関の会議の議事は、出席した委員の過半数で決定し、可否同数の場合は、議長の決定するところによる。

5 附属機関の会議に、必要に応じ委員以外の者を出席させ、特定の事項に関し説明を求め、又は意見を述べさせることができる。

(部会)

第8条 附属機関は、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会の部会長、会議については、第5条から第7条の規定を準用する。

(報酬等)

第9条 委員の報酬及び費用弁償は、別に条例で定める。

2 第7条第5項の規定により附属機関の会議に出席した委員以外の者に対し、別に定めるところにより謝礼金を支払う。

(守秘義務)

第10条 委員は、その所掌事項に関し知り得た秘密を他に漏らしてはならない。また、その職を退いた後も、同様とする。

(委任)

第11条 この条例に定めがあるものを除くほか、附属機関の設置及び運営に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

附 則（平成30年12月20日条例第35号）

この条例は、平成31年4月1日から施行する。

別表第2（第3条関係） 教育委員会の附属機関 ※抜粋

附属機関	所掌事項	委員の定数	委員の構成	委員の任期	会長等の選任方法	庶務担当課
おいらせ町社会教育委員会	(1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。 (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に対して意見を述べること。 (3) 前2号の職務を行うために必要な調査研究を行うこと。	10人以上 (公募による者を含む)	(1) 学校教育及び社会教育の関係者 (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者 (3) 学識経験を有する者 (4) その他教育委員会が必要と認める者	2年	(1) 委員長 委員の互選 (2) 副委員長 委員の互選	社会教育・体育課
おいらせ町社会教育計画検討委員会	おいらせ町社会教育計画の策定における、重点項目及び主要事業の骨子（素案）等の検討をすること。	若干名	(1) 町の社会教育委員 (2) 公民館運営審議会委員 (3) 図書館協議会委員 (4) 文化財保護審議会委員 (5) 芸術文化関係団体役員 (6) その他教育委員会が必要と認める者	2年	(1) 委員長 委員の互選 (2) 副委員長 委員の互選	社会教育・体育課



第4次oirase町社会教育中期計画

発行 おいらせ町教育委員会
〒039-2289 青森県上北郡oirase町上明堂 60-6
TEL 0178-56-4276 FAX 0178-56-4268
発行月日 令和7年3月
編集 おいらせ町教育委員会 社会教育・体育課